

6 ボデー

変更概要	6-2
フロントバンパー	6-3
準備品	6-3
フロントバンパー	6-4
脱着分解構成図	6-4
フロントバンパー ASSY 取りはずし	6-5
フロントバンパーカバー ASSY 分解	6-7
フロントバンパー ASSY 組み付け	6-8
フロントバンパー ASSY 取り付け	6-9
リヤバンパー	6-11
準備品	6-11
リヤバンパー	6-12
脱着分解構成図	6-12
リヤバンパー ASSY 取りはずし	6-13
リヤバンパー ASSY 分解	6-16
リヤバンパー ASSY 組み付け	6-17
リヤバンパー ASSY 取り付け	6-18
パワーウィンドウ	6-22
部品配置図	6-22
ワイヤレスドアロック	
リモートコントロール	6-23
準備品	6-23
部品配置図	6-24
機能点検	6-25
ワイヤレスドアロックリモートコントロール点検	6-25
トラブルシューティング	6-26
トラブルシューティングの進め方	6-26
現象別チャート	6-26
ドアコントロールレシーバー &	
トランスミッター	6-32
ドアコントロールレシーバー &	
トランスミッター	6-32
単体点検	6-36
ドアコントロールトランスミッター	6-36
ドアコントロールレシーバー	6-38
ネームプレート	6-39
クォーターマーク	6-39
脱着構成図	6-39
モールディング	6-40
ロワーバックフィニッシュ	
センターパネル	6-40
脱着構成図	6-40
ロワーバックフィニッシュセンターパネル	
取りはずし	6-41
ロワーバックフィニッシュセンターパネル	
取り付け	6-41

リヤシート	6-43
準備品	6-43
リヤシート	6-44
脱着構成図	6-44
分解構成図	6-45
リヤシート ASSY 取りはずし	6-46
リヤシート ASSY RH 分解	6-47
リヤシート ASSY LH 分解	6-48
リヤシート組み付け	6-50
リヤシート取り付け	6-50
パワーシートアジャスター	6-51
分解構成図	6-51
パワーシートアジャスター分解	6-52
パワーシートアジャスター組み付け	6-52

変更概要

トヨタ クラウンハードトップ修理書／追補版（品番 62131, 1991 年 10 月発行）の内容から以下の項目を変更しました。

- 1 フロントバンパーの修理要領の変更
- 2 リヤバンパーの修理要領の変更
- 3 パワーウィンドウのキー OFF 作動機構廃止にともなうパワーウィンドウの部品配置図の変更
- 4 ワイヤレスドアロックリモートコントロールの修理要領の変更
- 5 ネームプレート of 修理要領の変更
- 6 モールディング of 修理要領の変更
- 7 リヤシート of 修理要領の変更

フロントバンパー

準 備 品

工 具

クリップリムーバー	10801	クリップ取りはずし用
電気ドリルおよびドリル (φ 3.2~3.5mm)	11202	サイドリテーナー取りはずし用
カッターナイフ	50601	フロントフェンダースブラッシュフロントシールド取りはずし用

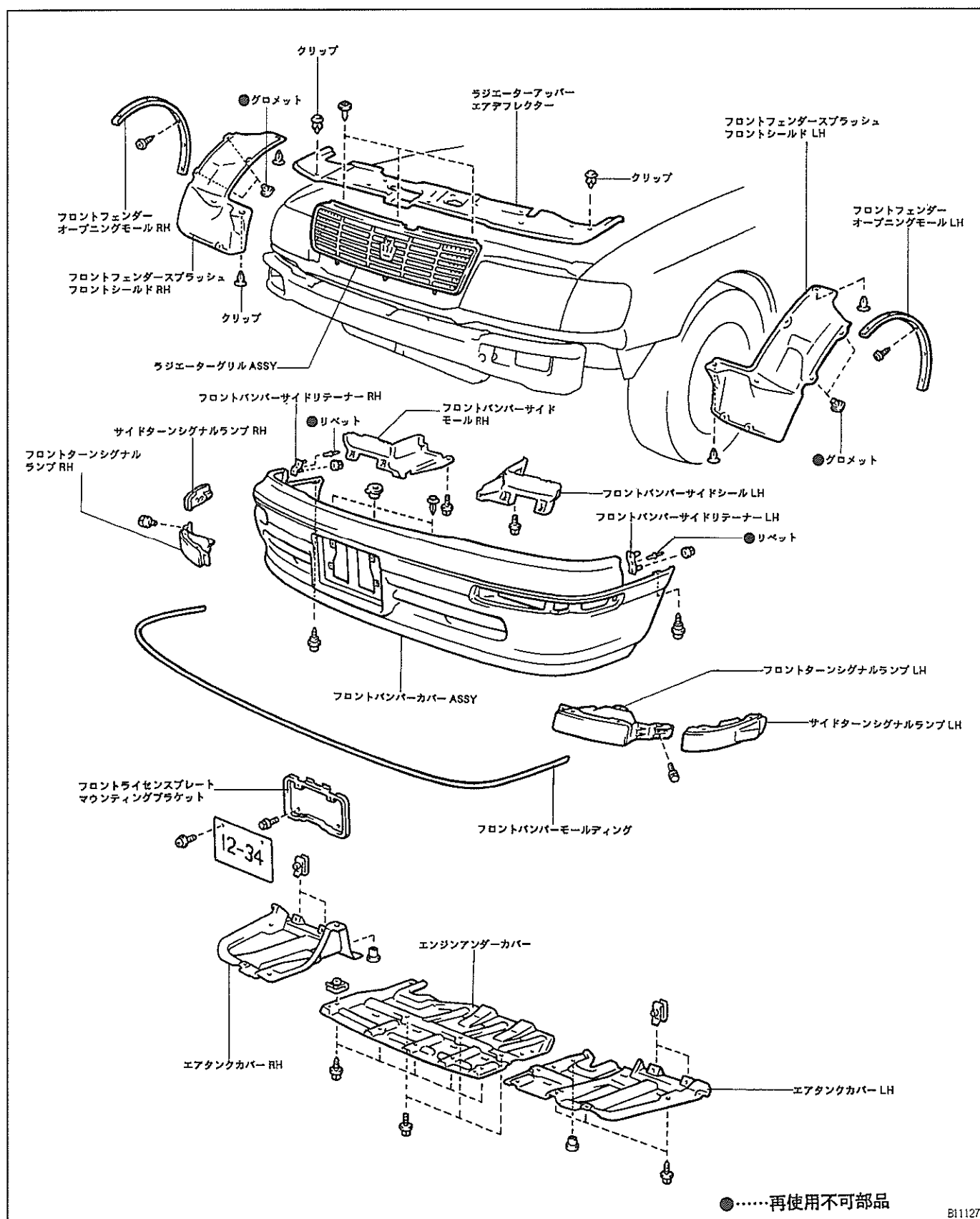
油脂・その他

プラスチックテープ (50m 巻)	11401	塗装面傷つき防止用
赤外線ランプ	53201	モールディング脱着用
筆	53401	プライマー塗布用
プライマー	53307	モールディング取り付け用

フロントバンパー

脱着分解構成図

6



B11127

フロントバンパー ASSY 取りはずし

- 1 ライセンスプレート取りはずし
- 2 フロントライセンスプレートマウンティングブラケット取りはずし
- 3 ラジエーターアッパーエアデフレクター取りはずし
 - (1) ⊕ドライバーを使用してクリップ中央部を押し、クリップ 10 個をはずし、エアデフレクターを取りはずす。

4 ラジエーターグリル ASSY 取りはずし

- (1) スクリュー 3 本を取りはずす。

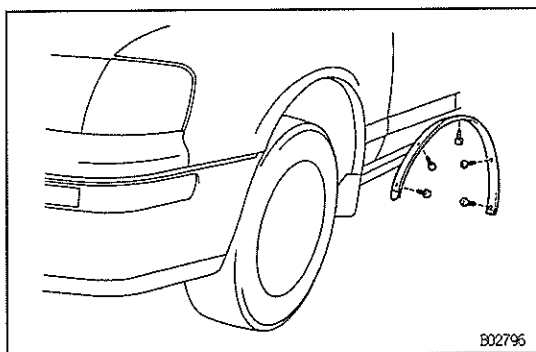
- (2) ラジエーターグリル ASSY をガイド用クリップから抜き取り、グリル ASSY を取りはずす。

5 エンジンアンダーカバー取りはずし

- (1) ⊕ドライバーを使用してクリップ中央部を押し、クリップ 2 個を取りはずす。
- (2) スクリュー 5 本を取りはずす。
- (3) ボルト 5 本をはずし、エンジンアンダーカバーを取りはずす。

6 エアタンクカバー RH および LH 取りはずし

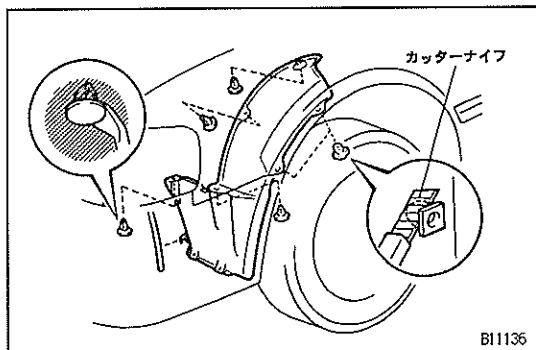
- (1) ⊕ドライバーを使用してクリップ 6 個を取りはずす。
- (2) スクリュー 4 本をはずし、エアタンクカバー RH および LH を取りはずす。



B02796

7 フロントフェンダーホイールオープニングモール RH および LH 取りはずし

- (1) スクリュー5本をはずし、ホイールオープニングモールを取りはずす。

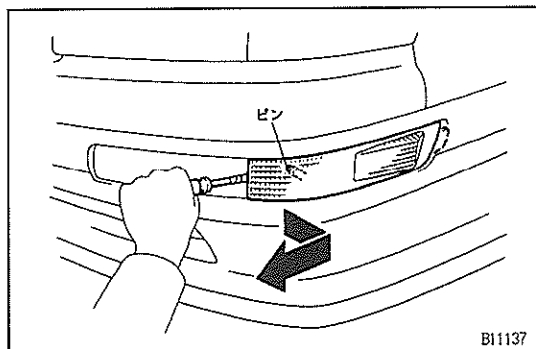


B11136

8 フロントフェンダースplashフロントシールド RH および LH 取りはずし

- (1) カッターナイフを使用してスクリューグロメット2個を切断する。
- (2) クリップリムーバーを使用してクリップ4個をはずし、フロントシールドを取りはずす。

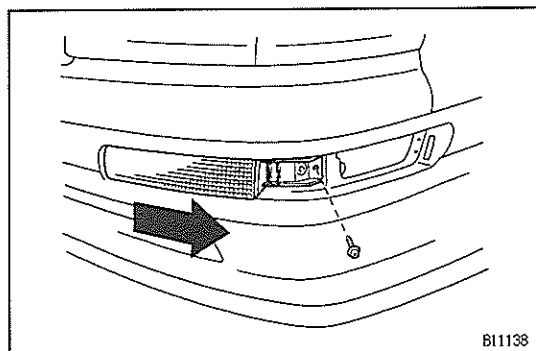
注意 LHはバッテリードレーンホースをフックから取りはずす。



B11137

9 サイドターニングシグナルランプ RH および LH 取りはずし

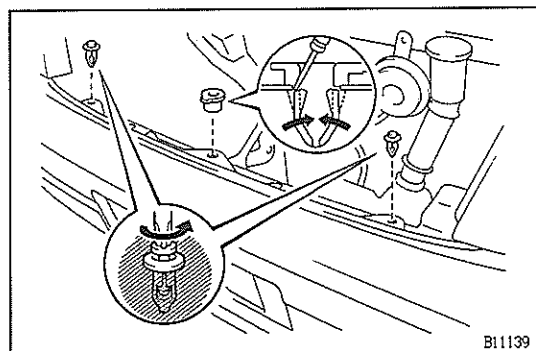
- (1) 保護テープを貼った⊖薄刃ドライバーをサイドターニングシグナルランプとフロントターニングシグナルランプの合わせ部に差し込む。
- (2) サイドターニングシグナルランプをこじて、ピンのかん合を取りはずす。
- (3) コネクターを切り離し、サイドターニングシグナルランプを取りはずす。



B11138

10 フロントターニングシグナルランプ RH および LH 取りはずし

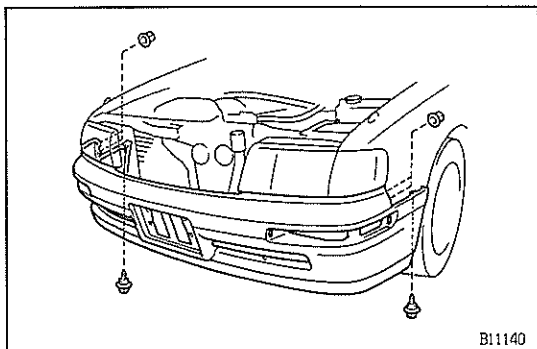
- (1) スクリューをはずし、コネクターを切り離してフロントターニングシグナルランプを取りはずす。



B11139

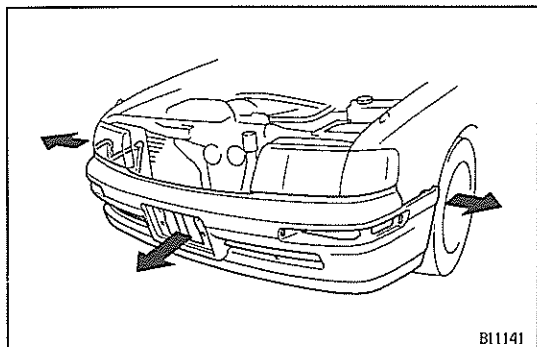
11 フロントバンパー ASSY 取りはずし

- (1) ⊕ドライバーを使用して左右のクリップ2個を取りはずす。
- (2) 上部より⊖薄刃ドライバーでクリップのツメを内側に起こしてセンターのクリップを取りはずす。



B11140

(3) ナット 4 個およびスクリュー 2 本を取りはずす。



B11141

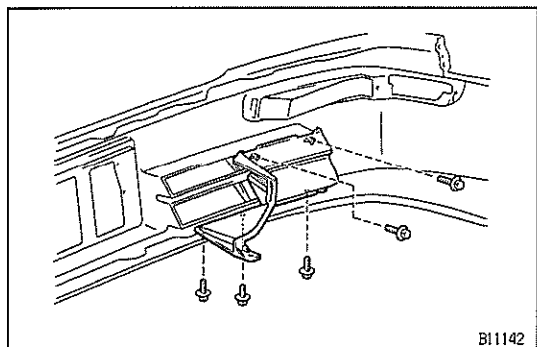
(4) サイドリテナー部を外側に引き、フロントバンパー ASSY と

フロントバンパー№3 サイドリテナーのかん合を取りはずす。

(5) フロントバンパーカバーを前方に引き出して取りはずす。

注意 取りはずしするとき、バンパーカバーでボデー側に傷をつけないように注意深く行う。

6

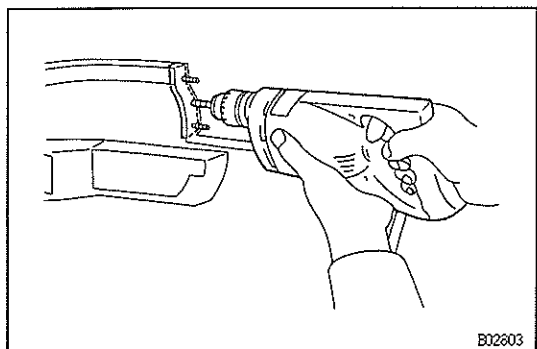


B11142

フロントバンパーカバー ASSY 分解

1 フロントバンパーサイドシール RH および LH 取りはずし

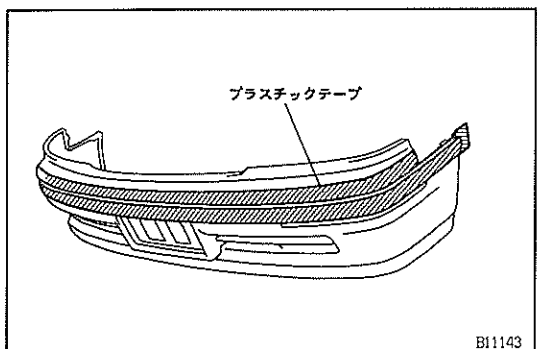
(1) ボルト 5 本をはずし、フロントバンパーサイドシールを取りはずす。



B02803

2 フロントバンパーサイドリテナー RH および LH 取りはずし

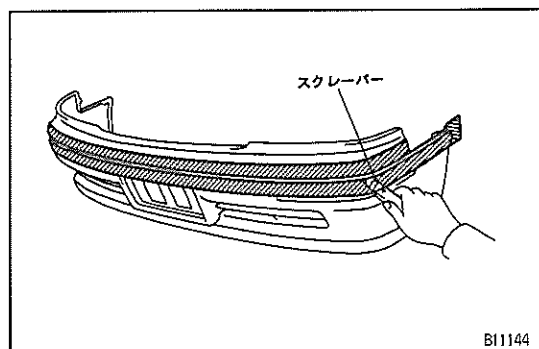
(1) ドリルを使用してリベットを削り取り、バンパーカバーからリテナーを取りはずす。



B11143

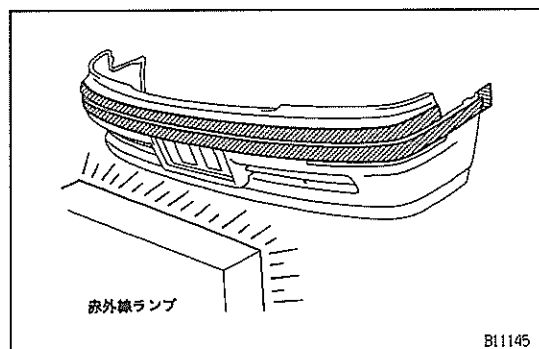
3 フロントバンパーモールディング取りはずし

(1) モールディング外周に保護テープ（プラスチックテープ）を貼り付ける。



- (2) 保護テープを貼ったスクレーパーを使用して、モールディングの下側をこじて取りはずす。

注意 バンパーに傷をつけない。



フロントバンパー ASSY 組み付け

1 バンパーモールディング取り付け

- (1) バンパーのモールディング取り付け部を清掃する。

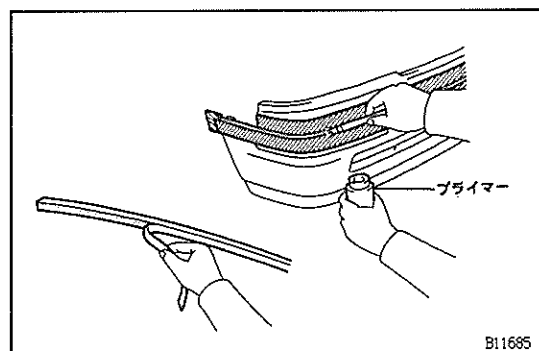
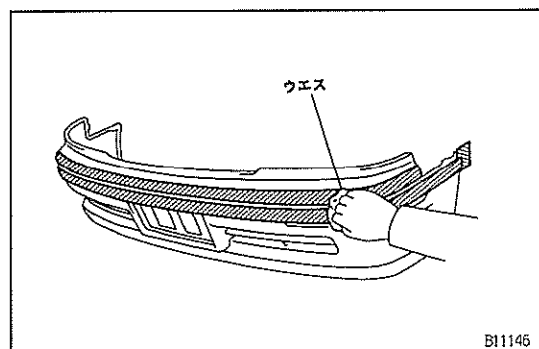
- ① 赤外線ランプなどでバンパーに残ったアクリルフォームテープを暖める。

〈参考〉 40～60℃で1～2分間

- ② 赤外線ランプなどで暖めた状態で、バンパーに残ったアクリルフォームテープをウエスなどでこすり除去する。

注意 ・アクリルフォームテープが残った状態でモールディングを取り付けると接着不良の原因となるため、完全に除去できるまで行う。

・ドライバーなどで除去を行うとバンパー溝部に傷がつき、接着不良の原因となるため、ウエスなどでこすり除去する。



- (2) バンパーモールディングを取り付ける。

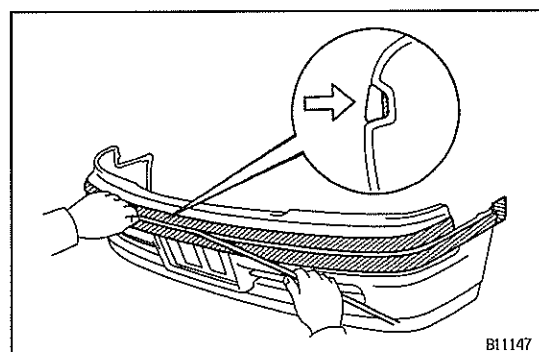
- ① 筆を使用してバンパー溝部にプライマーを塗布する。

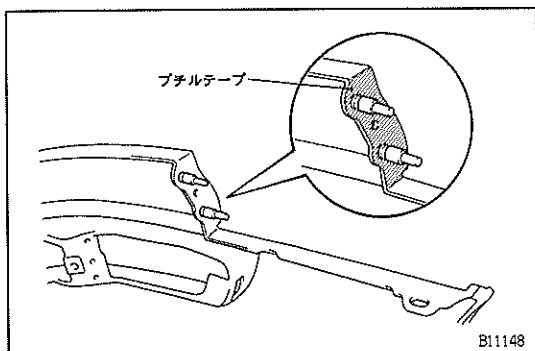
注意 ・プライマー（品番 90999-91042）を使用のこと。
・塗布後5分以上3時間以内にバンパーモールディングを接着する。
・バンパーモールディングには塗布しない。
・塗布面に汚れが付着しないように行う。

- ② アクリルフォームテープの離型紙を、接着面にふれないようにはがす。

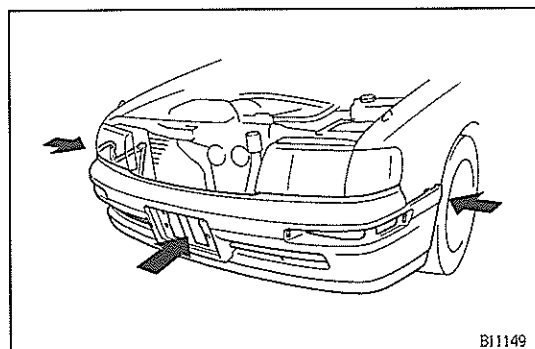
- ③ バンパー溝部の下面に沿わせてバンパーモールディングをセットし、下へ押し付けながら貼り付ける。

注意 バンパーモールディング貼り付け作業は、雰囲気温度20℃以上で行う。雰囲気温度20℃未満の場合は、バンパー溝部およびバンパーモールディングを赤外線ランプなどで20～30℃に暖めてからバンパーモールディングを貼り付ける。



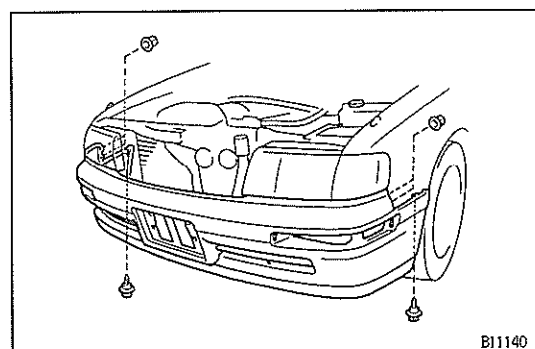


- 2 フロントバンパーサイドリターナー RH および LH 取り付け
 - (1) 図の位置にブチルテープを薄く貼り付け、サイドリターナーをバンパーカバーに取り付ける。
- 3 フロントバンパーサイドシール RH および LH 取り付け

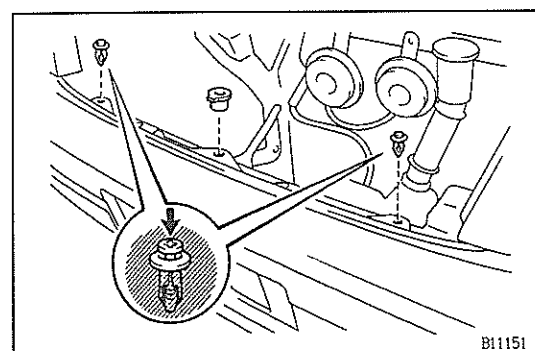


フロントバンパー ASSY 取り付け

- 1 フロントバンパー ASSY 取り付け
 - (1) フロントバンパー ASSY を車両に取り付け、サイドリターナー部をフロントバンパーNo.3 サイドリターナーにかん合させる。

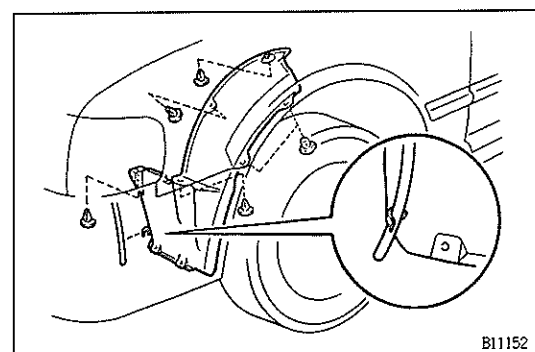


- (2) ナット 4 個およびスクリュー 2 本を取り付ける。

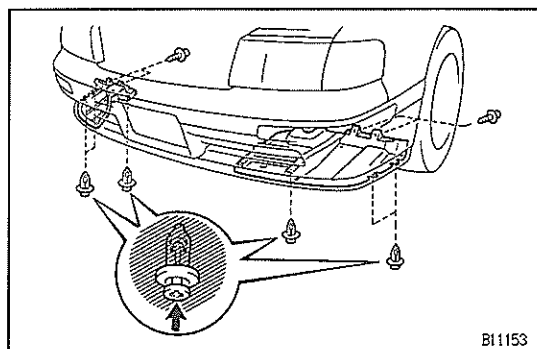


- (3) クリップ 3 個を取り付ける。

- 2 フロントターンシグナルランプ RH および LH 取り付け
- 3 サイドターンシグナルランプ RH および LH 取り付け

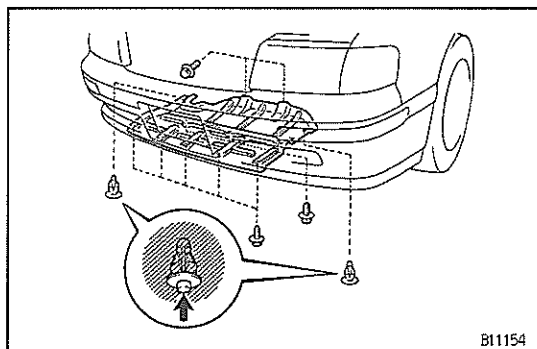


- 4 フロントフェンダースプラッシュフロントシールド RH および LH 取り付け
 - (1) クリップ 4 個で、フロントシールドを取り付ける。
注意 LH はバッテリードレーンホースをスプラッシュフロントシールドのフックにはめ込む。
 - (2) 新品のグロメット 2 個を取り付ける。
- 5 フロントフェンダーホイールオープニングモール RH および LH 取り付け



6 エアタンクカバー RH および LH 取り付け

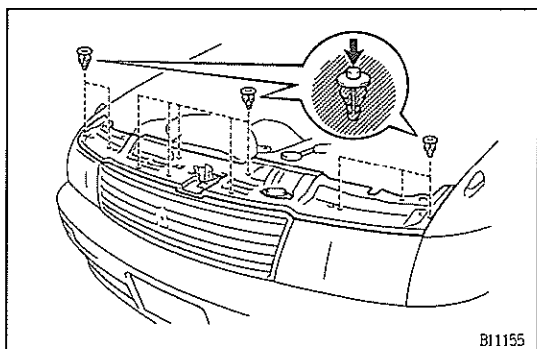
- (1) クリップ中央部を押してクリップ4個で、エアタンクカバー RH および LH を取り付け。
- (2) スクリュー4本を取り付ける。



7 エンジンアンダーカバー取り付け

- (1) ボルト5本でエンジンアンダーカバーを取り付ける。
- (2) スクリュー5本を取り付ける。
- (3) クリップ中央部を押してクリップ2個を取り付ける。

8 ラジエーターグリル ASSY 取り付け



9 ラジエーターアッパーエアデフレクター取り付け

- (1) クリップ中央部を押してクリップ10個で、エアデフレクターを取り付ける。

10 フロントライセンスマウンティングブラケット取り付け

11 ライセンスプレート取り付け

リヤバンパー

準 備 品

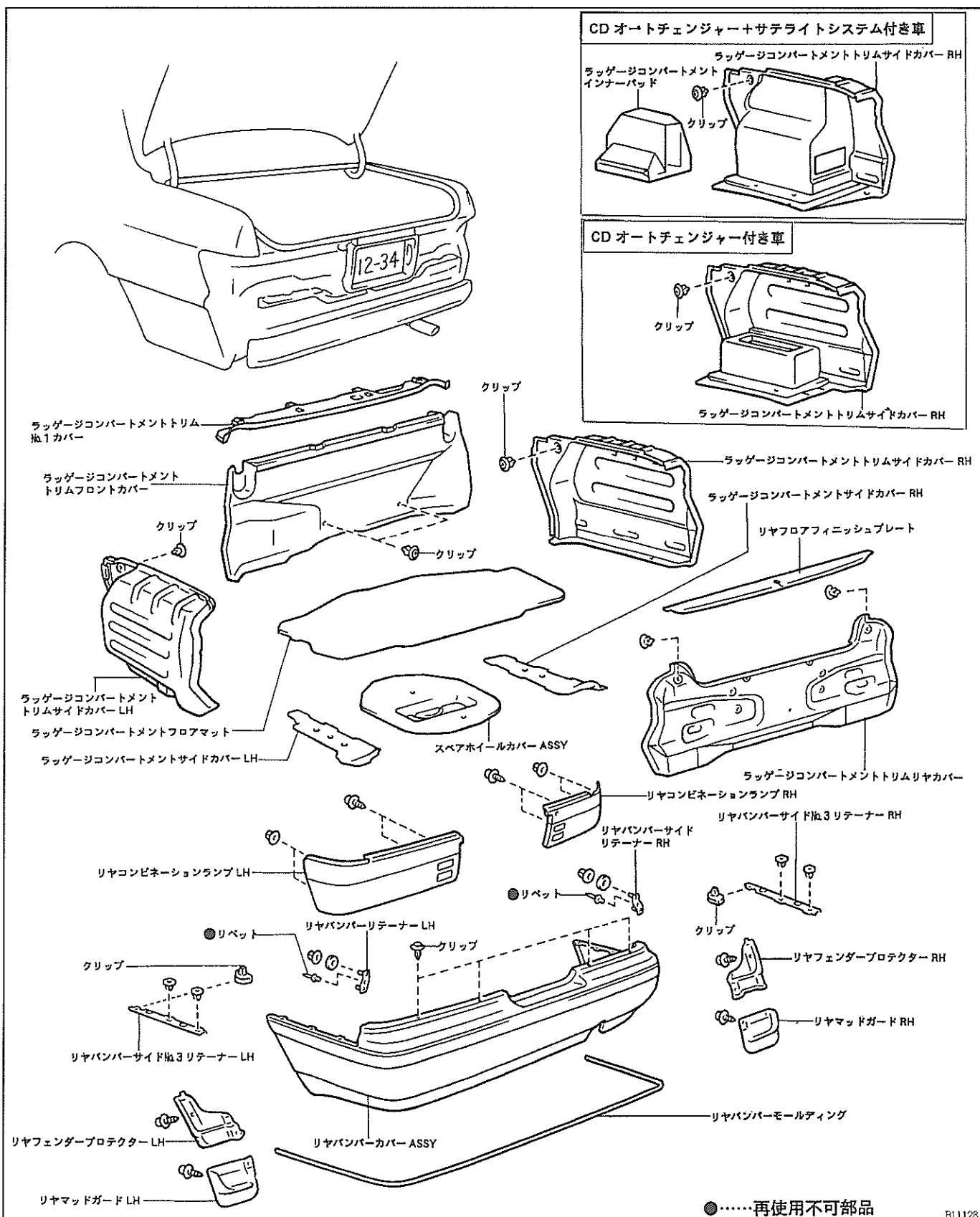
工 具

電気ドリルおよびドリル (φ 3.2~3.5mm)	11202	サイドリテーナー取りはずし用
油脂・その他		
プラスチックテープ (50m 巻)	11401	塗布面傷つき防止用
赤外線ランプ	53201	モールディング脱着用
筆	53401	プライマー塗布用
プライマー	53307	モールディング取り付け用

リヤバンパー

脱着分解構成図

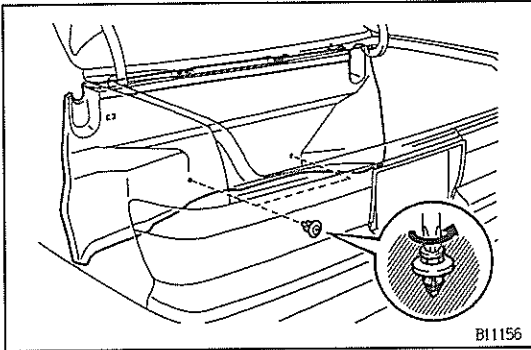
6



B11128

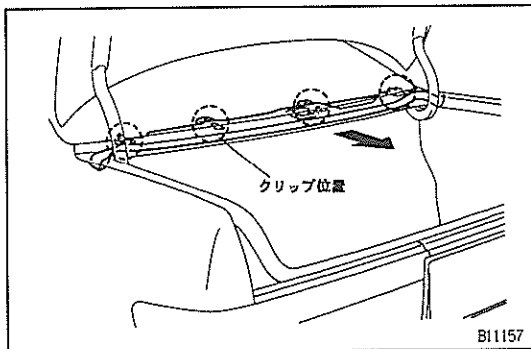
リヤバンパー ASSY 取りはずし

- 1 ラグゲージコンパートメントフロアマット取りはずし
- 2 スペアホイールカバー ASSY 取りはずし
- 3 ラグゲージコンパートメントサイドカバー RH および LH 取りはずし

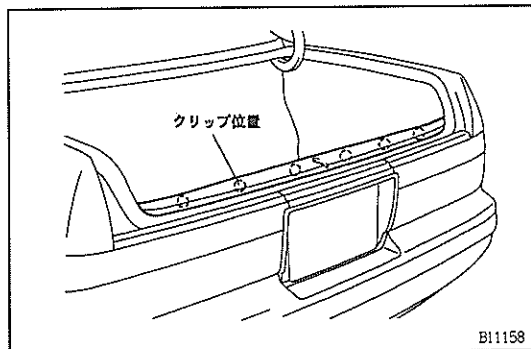


- 4 ラグゲージコンパートメントトリムフロントカバー取りはずし
 - (1) ⊕ドライバーを使用してクリップ2個を取りはずす。
 - (2) マジックファスナーをはずし、トリムフロントカバーを取りはずす。

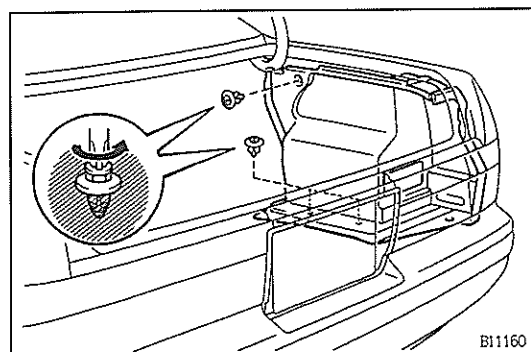
6



- 5 ラグゲージコンパートメントトリムNo.1 カバー取りはずし
 - (1) クリップ4箇所のかん合をはずし、トリムNo.1 カバーを後方に引いて取りはずす。



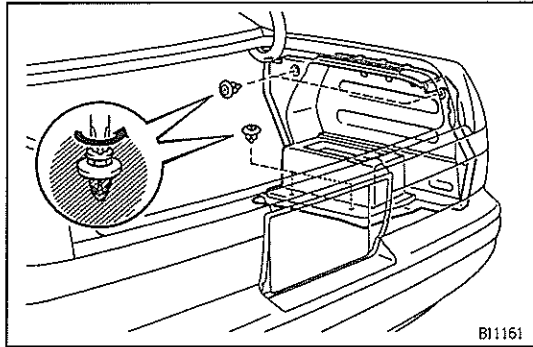
- 6 リヤフロアフィニッシュプレート取りはずし
 - (1) クリップのかん合位置6箇所をはずし、フィニッシュプレートを取りはずす。



- 7 ラグゲージコンパートメントトリムサイドカバー RH 取りはずし

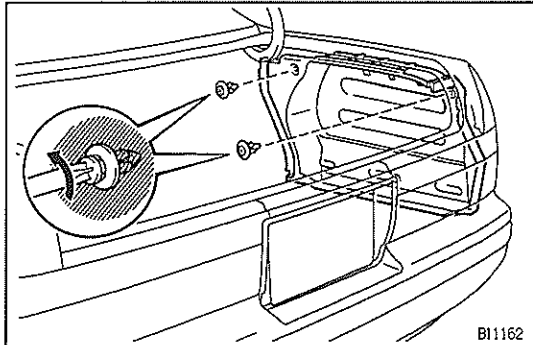
CD オートチェンジャー、サテライトシステム付き車

- (1) ⊕ドライバーを使用してクリップ3個をはずし、トリムサイドカバー RH を取りはずす。



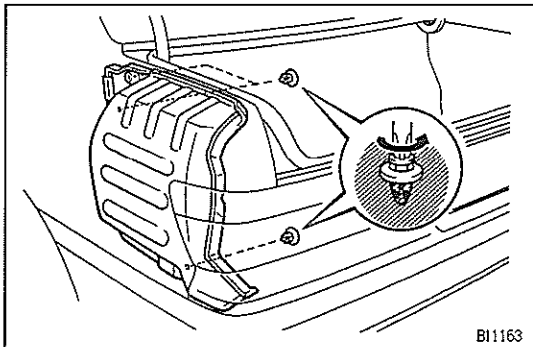
CD オートチェンジャー付き車

- (1) ⊕ドライバーを使用してクリップ4個をはずし、トリムサイドカバー RH を取りはずす。



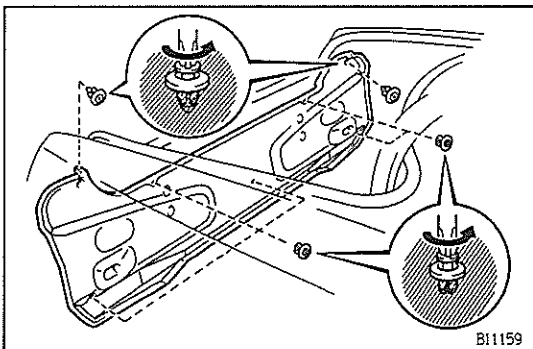
除く CD オートチェンジャー付き車

- (1) ⊕ドライバーを使用してクリップ2個をはずし、トリムサイドカバー RH を取りはずす。



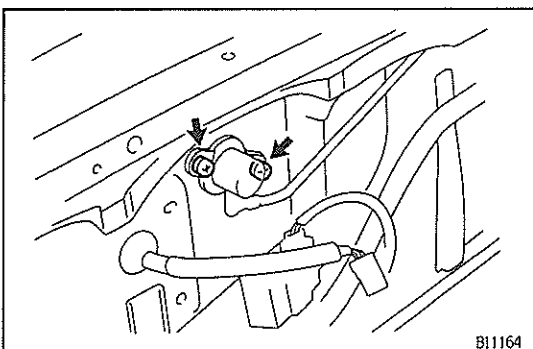
8 ラグゲージコンパートメントトリムサイドカバー LH 取りはずし

- (1) ⊕ドライバーを使用してクリップ3個をはずし、トリムサイドカバー LH を取りはずす。



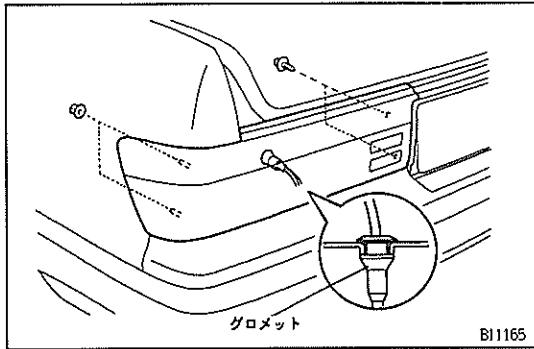
9 ラグゲージコンパートメントトリムリヤカバー取りはずし

- (1) ⊕ドライバーを使用してクリップ7個をはずし、トリムリヤカバーを取りはずす。

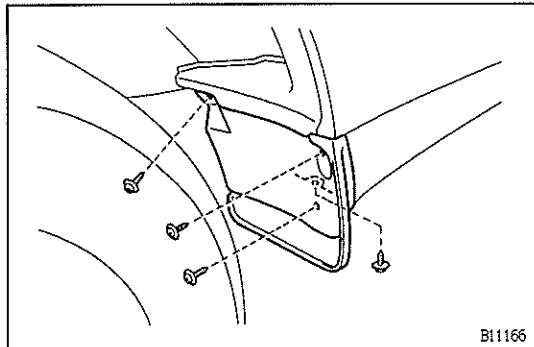


10 リヤコンビネーションランプ ASSY RH および LH 取りはずし

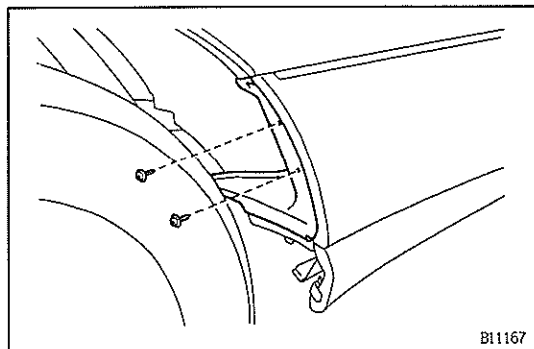
- (1) ラグゲージコンパートメントロックシリンダーの取り付けボルト2本をゆるめる。



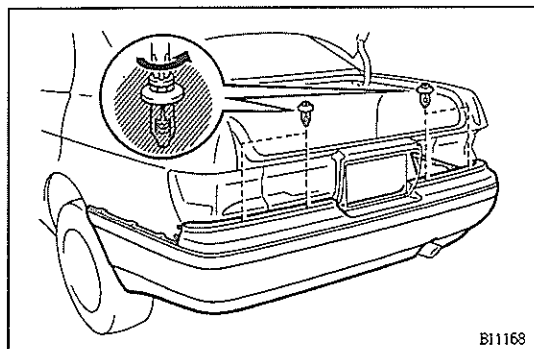
- (2) ナット 2 個およびスクリュー 2 本を取りはずす。
 (3) コネクターを切り離し、グロメットをはずしてランプ ASSY を取りはずす。



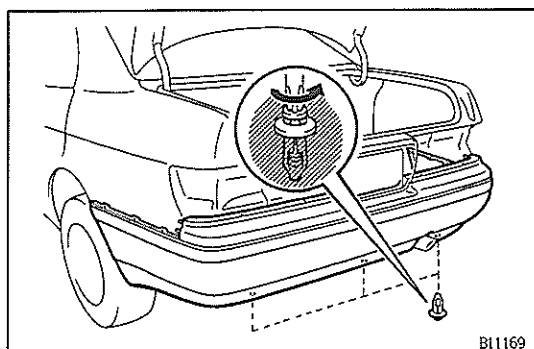
- 11 リヤマッドガード RH および LH 取りはずし
 (1) スクリュー 4 本をはずし、マッドガードを取りはずす。



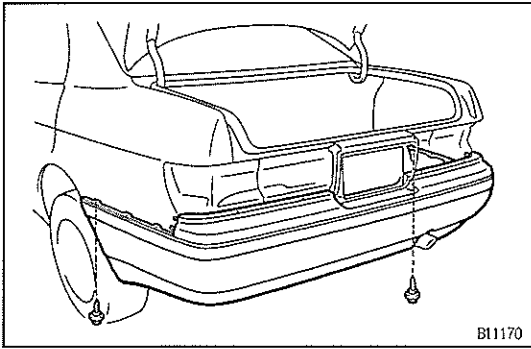
- 12 リヤフェンダープロテクター RH および LH 取りはずし
 (1) スクリュー 2 本をはずし、プロテクターを取りはずす。



- 13 リヤバンパー ASSY 取りはずし
 (1) ⊕ドライバーを使用して、クリップ 4 個を取りはずす。

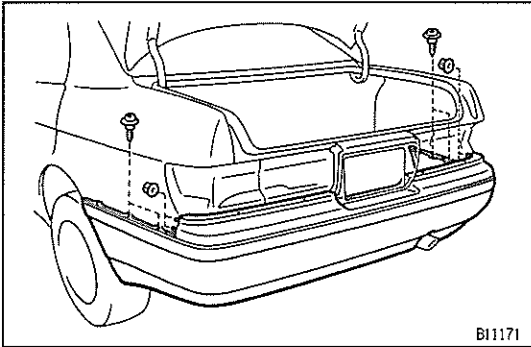


- (2) ⊕ドライバーを使用して、クリップ 3 個を取りはずす。



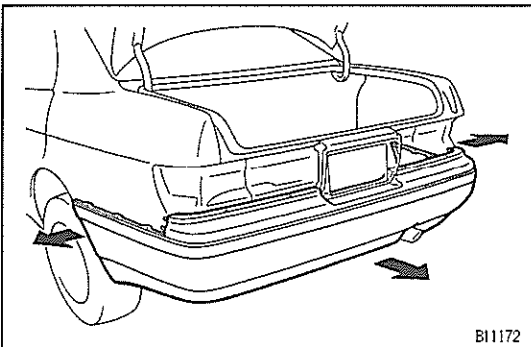
B11170

(3) スクリュー 2 本を取りはずす。



B11171

(4) スクリュー 4 本およびナット 4 個を取りはずす。

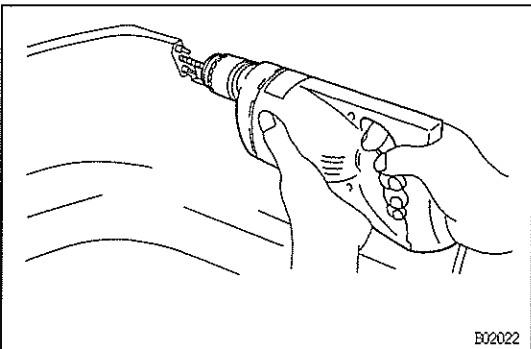


B11172

(5) サイドリテーナー部を外側に引き、リヤバンパー ASSY とリヤバンパー No.3 サイドリテーナーのかん合を取りはずす。

(6) リヤバンパーカバーを後方に引き出して取りはずす。

注意 取りはずしするとき、バンパーカバーでボデー側に傷をつけないように注意深く行う。

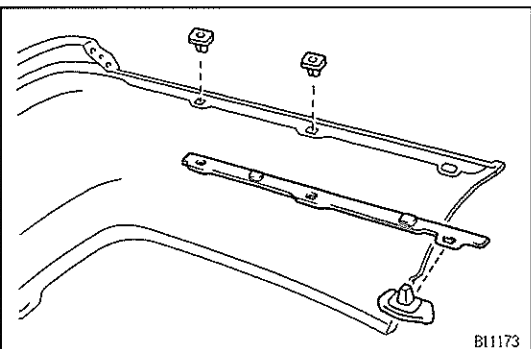


B02022

リヤバンパー ASSY 分解

1 リヤバンパーサイドリテーナー RH および LH 取りはずし

(1) ドリルを使用してリベットを削り取り、バンパーカバーからリテーナーを取りはずす。



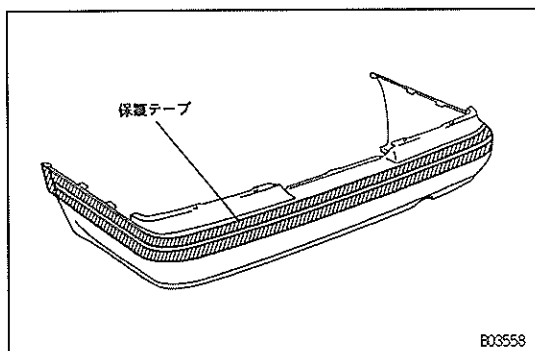
B11173

2 リヤバンパーサイド No.3 リテーナー RH および LH 取りはずし

(1) クリップおよびスクリューグロメット 2 個をはずし、サイド No.3 リテーナーを取りはずす。

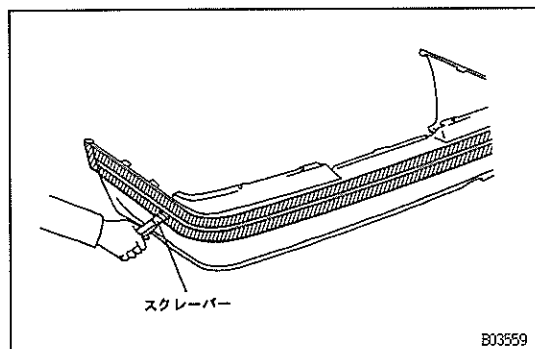
3 リヤバンパーモールディング取りはずし

- (1) モールディング外周に保護テープ（プラスチックテープ）を貼り付ける。



- (2) 保護テープを貼ったスクレーパーを使用してモールディングの下側をこじて取りはずす。

注意 バンパーに傷をつけない。



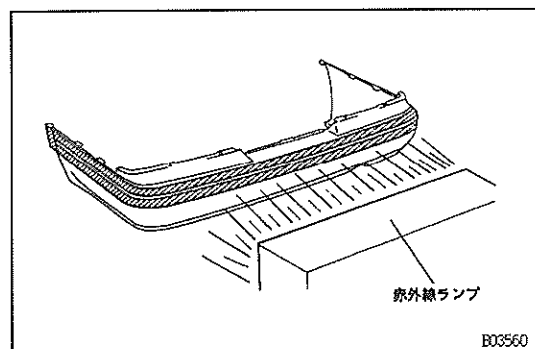
リヤバンパー ASSY 組み付け

1 リヤバンパーモールディング取り付け

- (1) バンパーのモールディング取り付け部を清掃する。

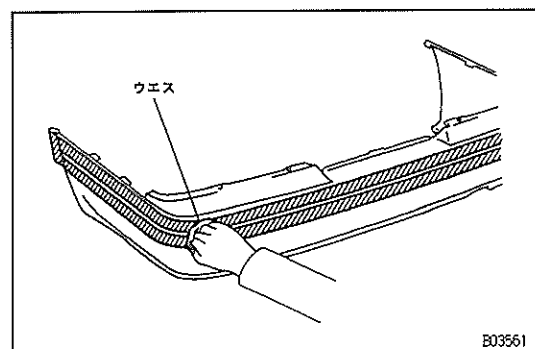
① 赤外線ランプなどでバンパーに残ったアクリルフォームテープを暖める。

〈参考〉 40～60℃で1～2分間



② 赤外線ランプなどで暖めた状態で、バンパーに残ったアクリルフォームテープをウエスなどでこすり除去する。

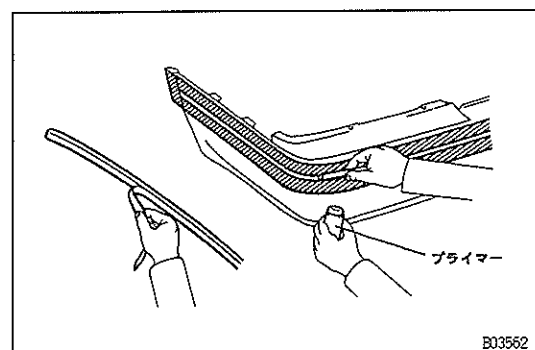
- 注意**
- ・アクリルフォームテープが残った状態でモールディングを取り付けると接着不良の原因となるため、完全に除去できるまで行う。
 - ・ドライバーなどで除去を行うとバンパー溝部に傷がつき、接着不良の原因となるため、ウエスなどでこすり除去する。

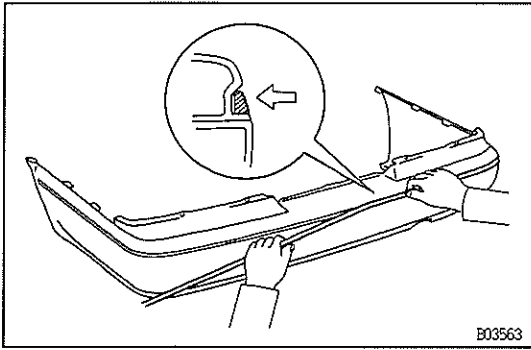


- (2) バンパーモールディングを取り付ける。

① 筆を使用してバンパー溝部にプライマーを塗布する。

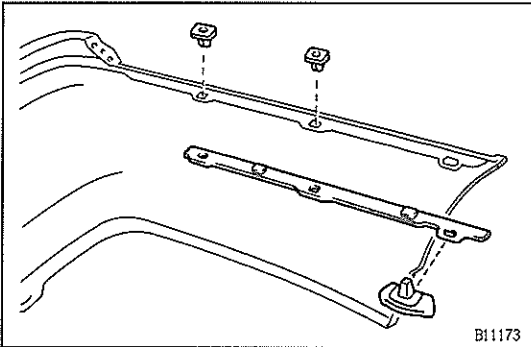
- 注意**
- ・プライマー（品番 90999-91042）を使用のこと。
 - ・塗布後5分以上3時間以内にバンパーモールディングを接着する。
 - ・バンパーモールディングには塗布しない。
 - ・塗布面に汚れが付着しないように行う。



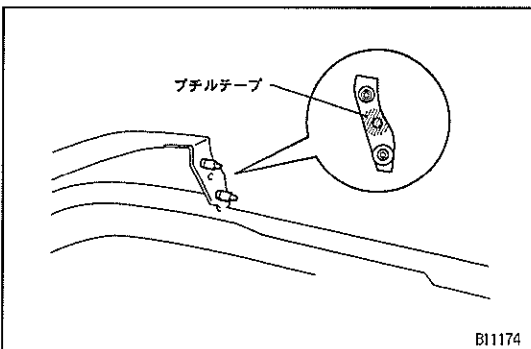


- ② アクリルフォームテープの離型紙を、接着面にふれないようにはがす。
- ③ バンパー溝部の下面に沿わせてバンパーモールディングをセットし、下へ押し付けながら貼り付ける。

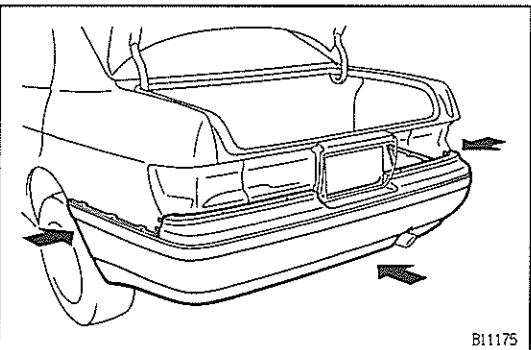
注意 バンパーモールディング貼り付け作業は、雰囲気温度 20℃以上で行う。雰囲気温度 20℃未満の場合は、バンパー溝部およびバンパーモールディングを赤外線ランプなどで 20～30℃に暖めてからバンパーモールディングを貼り付ける。



- 2 リヤバンパーサイドNo.3 リテーナー RH および LH 取り付け
 - (1) クリップおよびスクリューグロメット 2 個を使用してサイドNo.3 リテーナーを取り付ける。



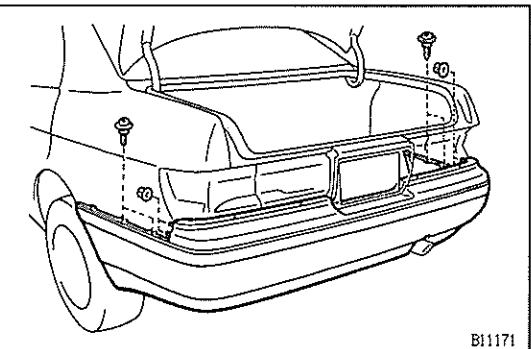
- 3 フロントバンパーサイドリテーナー RH および LH 取り付け
 - (1) 図の位置にブチルテープを薄く貼り付け、サイドリテーナーをバンパーカバーに取り付ける。



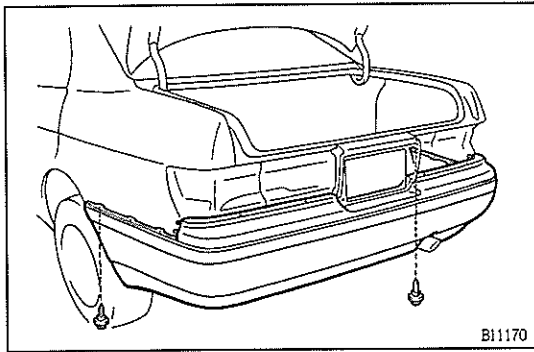
リヤバンパー ASSY 取り付け

1 リヤバンパー ASSY 取り付け

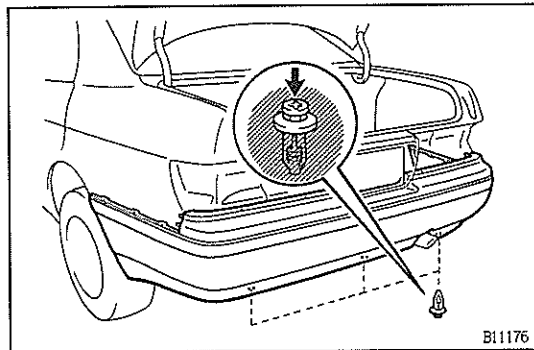
- (1) リヤバンパー ASSY を車両に取り付け、サイドリテーナー部をフロントバンパーNo.3 サイドリテーナーにかん合させる。



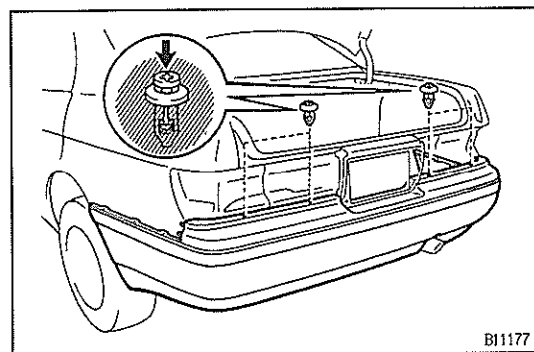
- (2) スクリュー 4 本およびナット 4 個を取り付ける。



(3) スクリュー 2 本を取り付ける。



(4) クリップ中央部を押してクリップ 3 個を取り付ける。



(5) クリップ中央部を押してクリップ 4 個を取り付ける。

2 リヤフェンダープロテクター RH および LH 取り付け

3 リヤマッドガード RH および LH 取り付け

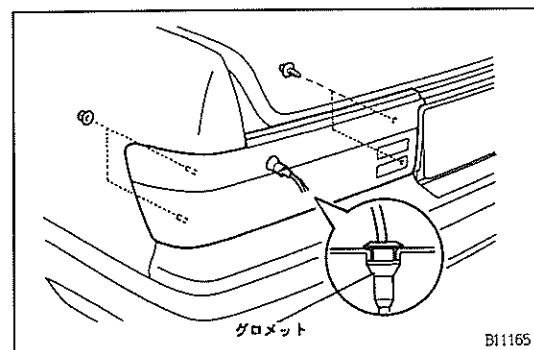
4 リヤコンビネーションランプ ASSY RH および LH 取り付け

(1) グロメットを取り付けてランプ ASSY を取り付ける。

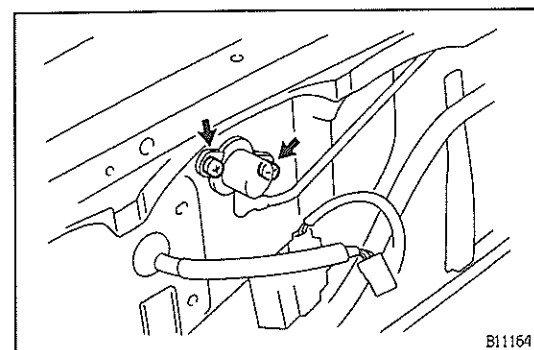
注意 グロメットはボデーにしっかり取り付ける。

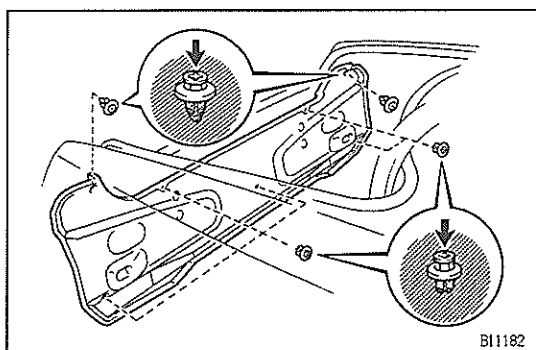
(2) ナット 2 個およびスクリュー 2 本を取り付ける。

(3) コネクターを接続する。



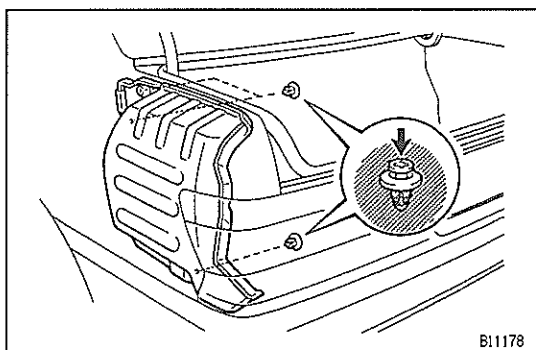
(4) ラグゲージコンパートメントロックシリンダーの取り付けボルトを締め付ける。





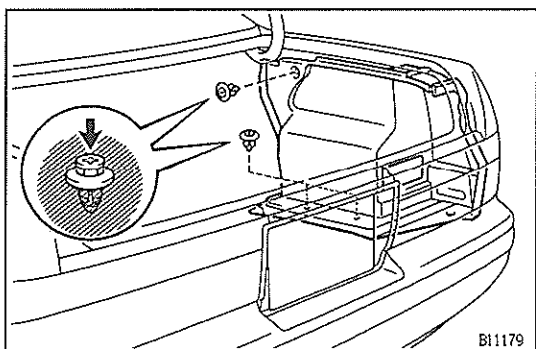
5 ラグゲージコンパートメントトリムリヤカバー取り付け

- (1) クリップ7個で、トリムリヤカバーを取り付ける。



6 ラグゲージコンパートメントトリムサイドカバー LH 取り付け

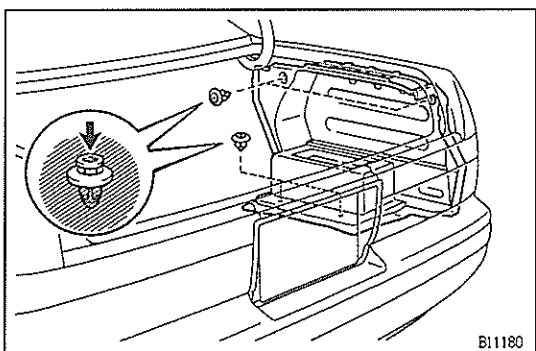
- (1) クリップ3個で、トリムサイドカバー LH を取り付ける。



7 ラグゲージコンパートメントトリムサイドカバー RH 取り付け

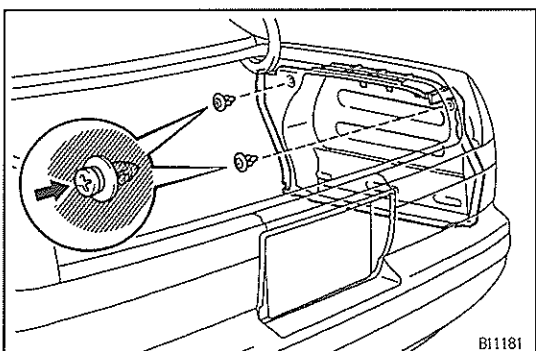
CD オートチェンジャー，サテライトシステム付き車

- (1) クリップ3個で、トリムサイドカバー RH を取り付ける。



CD オートチェンジャー付き車

- (1) クリップ4個で、トリムサイドカバー RH を取り付ける。

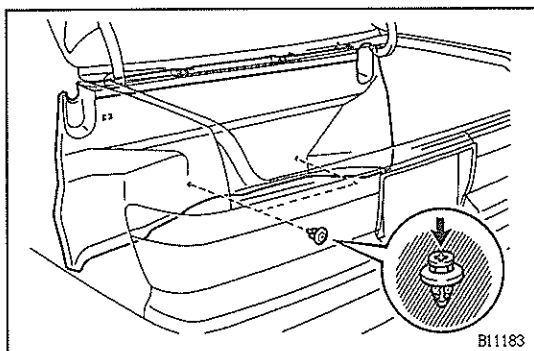


除く CD オートチェンジャー付き車

- (1) クリップ2個で、トリムサイドカバー RH を取り付ける。

8 リヤフロアフィニッシュプレート取り付け

9 ラグゲージコンパートメントトリムNo.1 カバー取り付け

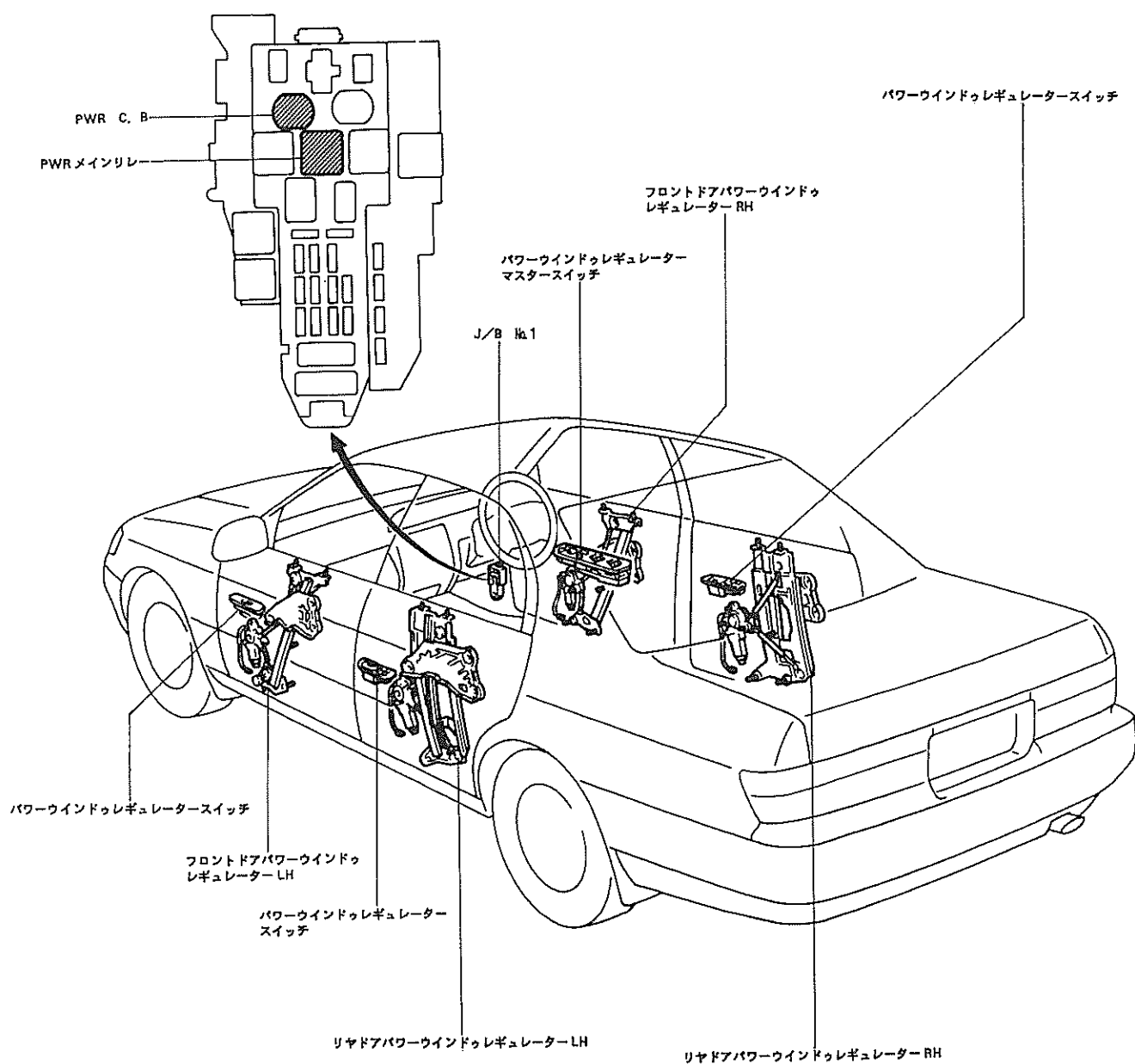


- 10 ラグゲージコンパートメントトリムフロントカバー取り付け
(1) マジックファスナーでトリムフロントカバーを取り付ける。
(2) クリップ2個を取り付ける。
- 11 ラグゲージコンパートメントサイドカバー RH および LH 取り付け
- 12 スペアホイールカバー ASSY 取り付け
- 13 ラグゲージコンパートメントフロアマット取り付け

パワーウィンドゥ

部品配置図

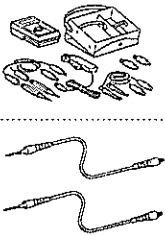
6



ワイヤレスドアロック リモートコントロール

準 備 品

計 器

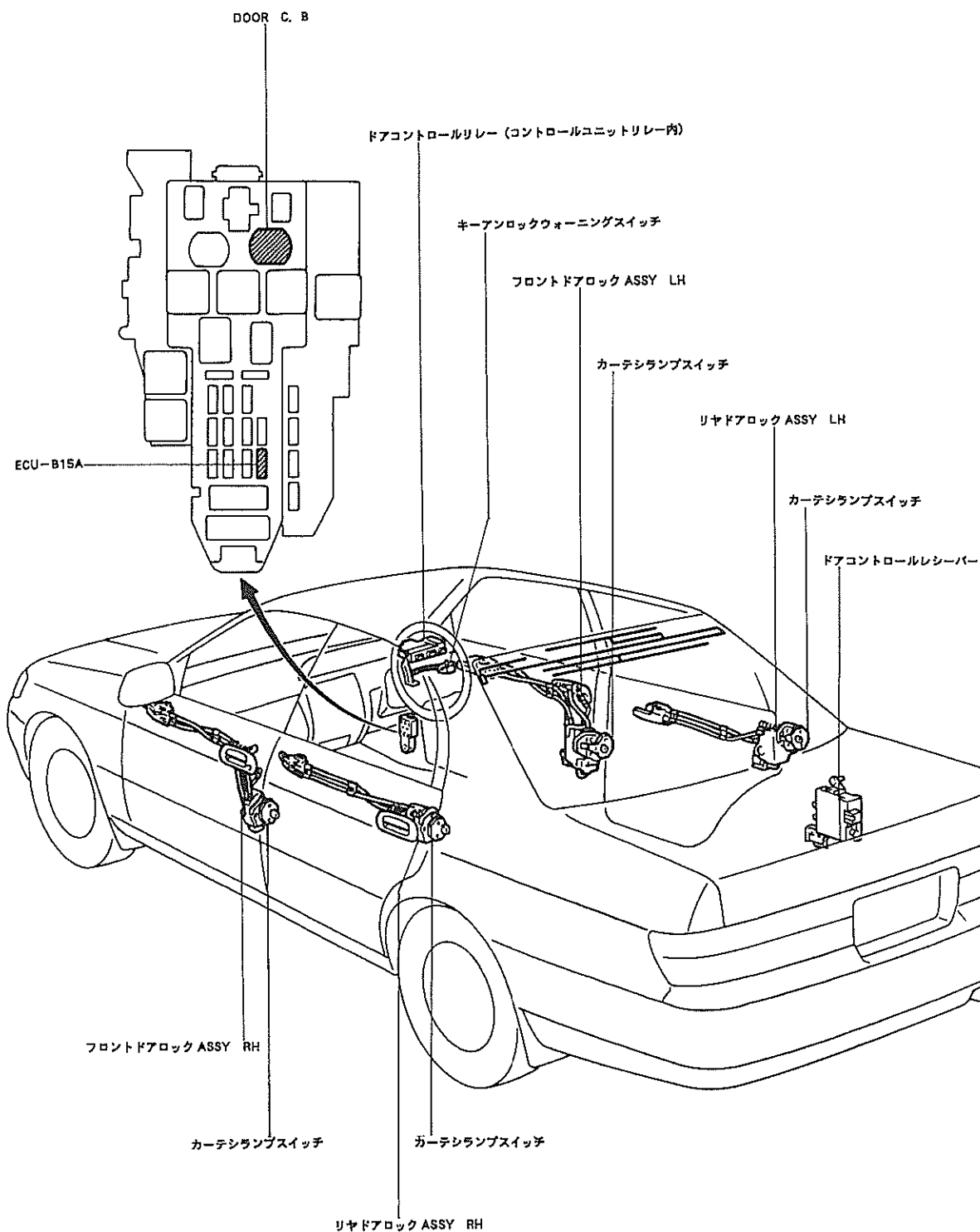
	09082-00012	トヨタ電気カルテスター	単体点検用
	(09083-00060)	ミニテストリード	単体点検用

油脂・その他

乾電池 1.5V 2本	52501	ドアコントロールランスミッター点検用
-------------	-------	--------------------

部品配置図

6



機能点検

〈参考〉 本文中に記載の“スイッチ”とは、ドアコントロールトランスミッターに内蔵された送信用のスイッチを示す。

ワイヤレスドアロックリモートコントロール点検

1 基本機能点検

- (1) リモートコントロール作動範囲内において、スイッチを押すと全ドアがロック、アンロックすることを点検する。ただし、3-(1)、4-(1)、6-(1)の状態を除く。
- (2) 1ドア以上がアンロックの場合、スイッチを押すと全ドアがロックして、全ドアがロックの場合、スイッチを押すと全ドアがアンロックすることを点検する。

2 オートロック機能点検

- (1) スイッチを押して全ドアをアンロックにした後、30秒以内にどのドアも開かなければ自動的に全ドアをロックして、30秒以内にいずれかのドアを開くと自動的にロックしないことを点検する。

3 スイッチ誤操作防止機能点検

- (1) イグニッションキーシリンダーにキープレートを差し込んだ状態では、スイッチを押してもロック、アンロック作動しないことを点検する。

4 ドアロックチャタリング防止機能点検

- (1) スイッチを押し続けた状態では全ドアがロックまたはアンロックの1回作動しかせず、連続的にロック、アンロックを繰り返さないことを点検する。ただし、スイッチから指を離して再びスイッチを押すまで、0.5秒以上の間隔をおけば次のロックまたはアンロック作動を行うことを点検する。

5 ドアロックの繰り返し機能点検

- (1) 全ドアアンロック状態から、運転席のドアコントロールノブの動きを強制的に阻止した状態でスイッチを押したとき、全ドアのロック作動を2回繰り返すことを点検する。
- (2) オートロック機能作動時に、いずれかのドアコントロールノブの動きを強制的に阻止したとき、全ドアのロック作動を2秒間隔で2回繰り返すことを点検する。

6 ドア開・半ドア時作動停止機能点検

- (1) いずれかのドアが半ドアまたは開かれている時に、スイッチ操作をしても作動しないことを点検する。

7 セキュリティー機能点検

〈参考〉 ワイヤレスドアロックリモートコントロールには、以上の1～6の機能の他にセキュリティー機能①とセキュリティー機能②の2種類があるが、点検を行うには同機種のトランスミッターを必要とするため、点検可能なテクノショップのみ行う。以下にその機能を説明する。

(1) セキュリティー機能①の機能を下記に示す。

トランスミッターには固有の識別コード (ID) が与えられており、トランスミッターの識別コードと車両側のレシーバーに登録されている識別コード (最大4種類) とが一致しないトランスミッターとレシーバー間では遠隔操作はできない。

(2) セキュリティー機能②の機能を下記に示す。

同機種のトランスミッターでレシーバーに登録されていない識別コードの電波を10分間に10種類以上レシーバーが受信するとレシーバーの受信機能を停止する。受信停止状態になった場合、ドアをアンロックにするか、ドアを開けるか、イグニッションキーシリンダーにキープレート差し込むと受信機能停止状態を解除する。

Y0024554

トラブルシューティング

このトラブルシューティングは、ワイヤレスドアロックコントロールのロック、アンロック (遠隔) 操作の作動不良のみの点検項目を記載してある。

また、不具合現象が特定の地域にだけ発生する場合は、その発生する地域で点検を行う。

トラブルシューティングの進め方

1 トラブルシューティングの進め方

- (1) 電気式ドアロックが正常に作動することを点検する。
- (2) 不具合現象に該当するチャートに従って点検する。

現象別チャート

1 フローチャートの見方

-  ……作業する項目
 ……点検する項目
 ……不具合要因・ワイヤハーネス系も含む。

2 不具合チャート

不 具 合 現 象	該当チャート
ワイヤレス機能 (遠隔操作) のみ作動しない (特定地域に片寄らず不具合現象が発生する場合)	1
ワイヤレス機能 (遠隔操作) のみ作動しない (特定地域に片寄って不具合現象が発生する場合)	2

JA2251

1

ワイヤレス機能（遠隔操作）のみ作動しない（特定地域に片寄らず不具合現象が発生する場合）

車両を初期状態にする

初期状態とは、以下の条件を満たした状態をいう。

- ① イグニッションキーシリンダーにキーブレードが差し込まれていない。
- ② すべてのドアが閉まっている。
- ③ すべてのドアが LOCK 状態。

標準操作で UNLOCK するか

標準操作とは、以下の手順をいう。

- ① 運転席アウトサイドハンドルから右方向に約 1m 離れる。
- ② トランスミッターのキーブレードを車両に向け、送信スイッチを約 1 秒間押す。
(トランスミッターのキーブレードには、指を触れない。)

NO

YES

正 常

- 〔参考〕・操作する人、持ち方、場所により最低作動距離は変化する。
・微弱電波を使用しているため、強い電波あるいは使用周波数にノイズがある場合は、作動距離が短くなることがある。
・キーブレードに指が触れると、作動距離が短くなることがある。

トランスミッターの電池残容量は正常か
〔「単体点検」－

「ドアコントロールトランスミッター」参照〕

NO

電池不良

YES

FM ラジオを 83.7MHz (83.6MHz～83.8MHz) の周波数にセットし、トランスミッターのキーブレードをラジオのアンテナ部に近づける

- 〔参考〕・トランスミッターをイグニッションキーシリンダーに差し込んで ACC 位置にし、車両のラジオを使用して点検することもできますが、アンテナ部と離れているためトランスミッター不良とは判定できない。
・83.7MHz (83.6MHz～83.8MHz) の周波数が FM ラジオ放送と重複する場合は、ポータブルラジオを用いて放送電波の弱い屋内で点検する。この場合は、ポータブルラジオのアンテナ部にトランスミッターのキーブレードを接触させて行う。

トランスミッターの送信スイッチを押すと、スピーカーより雑音ができるか

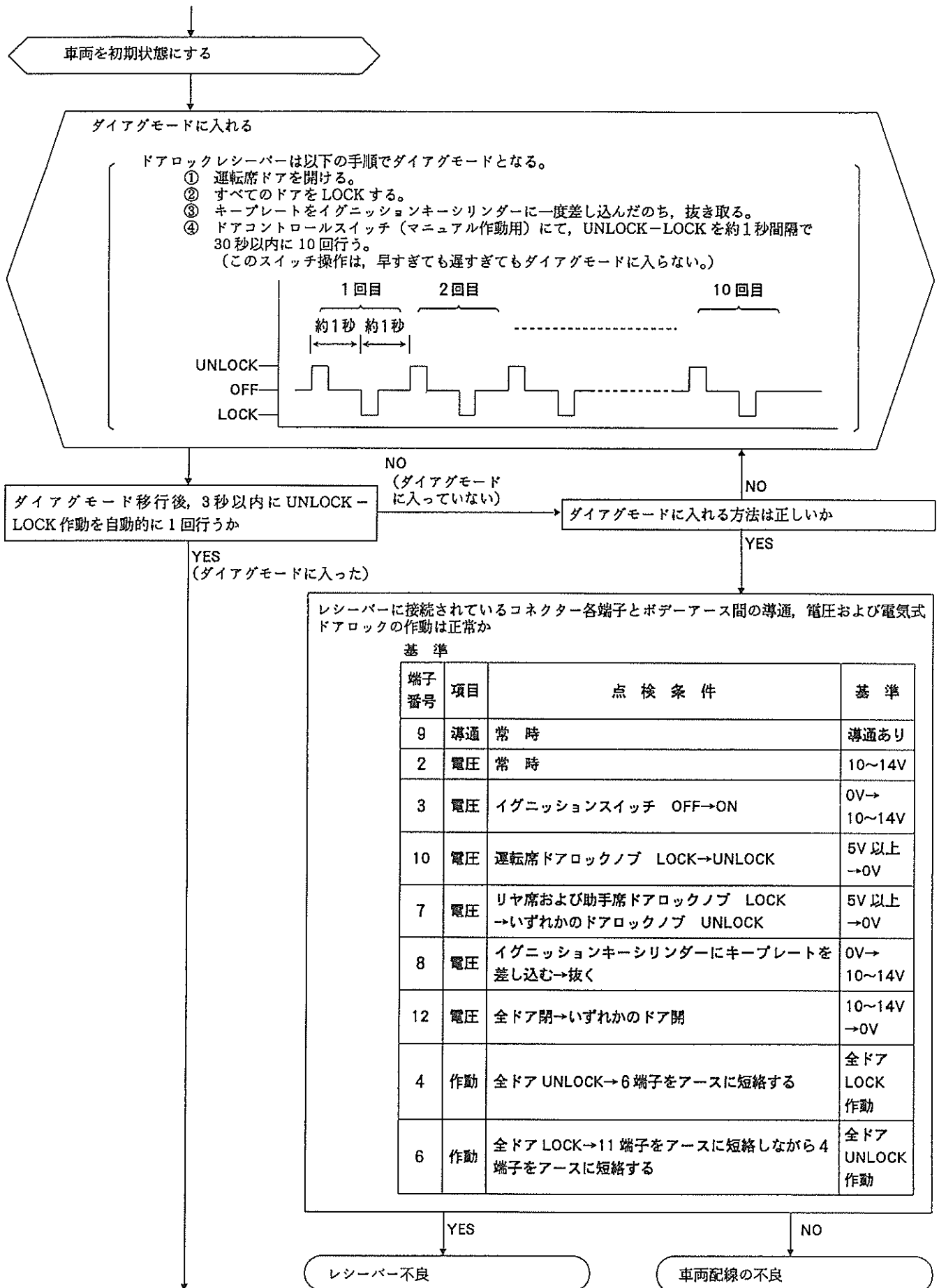
- 〔注意〕・電池残容量や持ち方によって音が異なるため、音量、音質による良否判定はできない。
・雑音による電池の良否判定はできない。

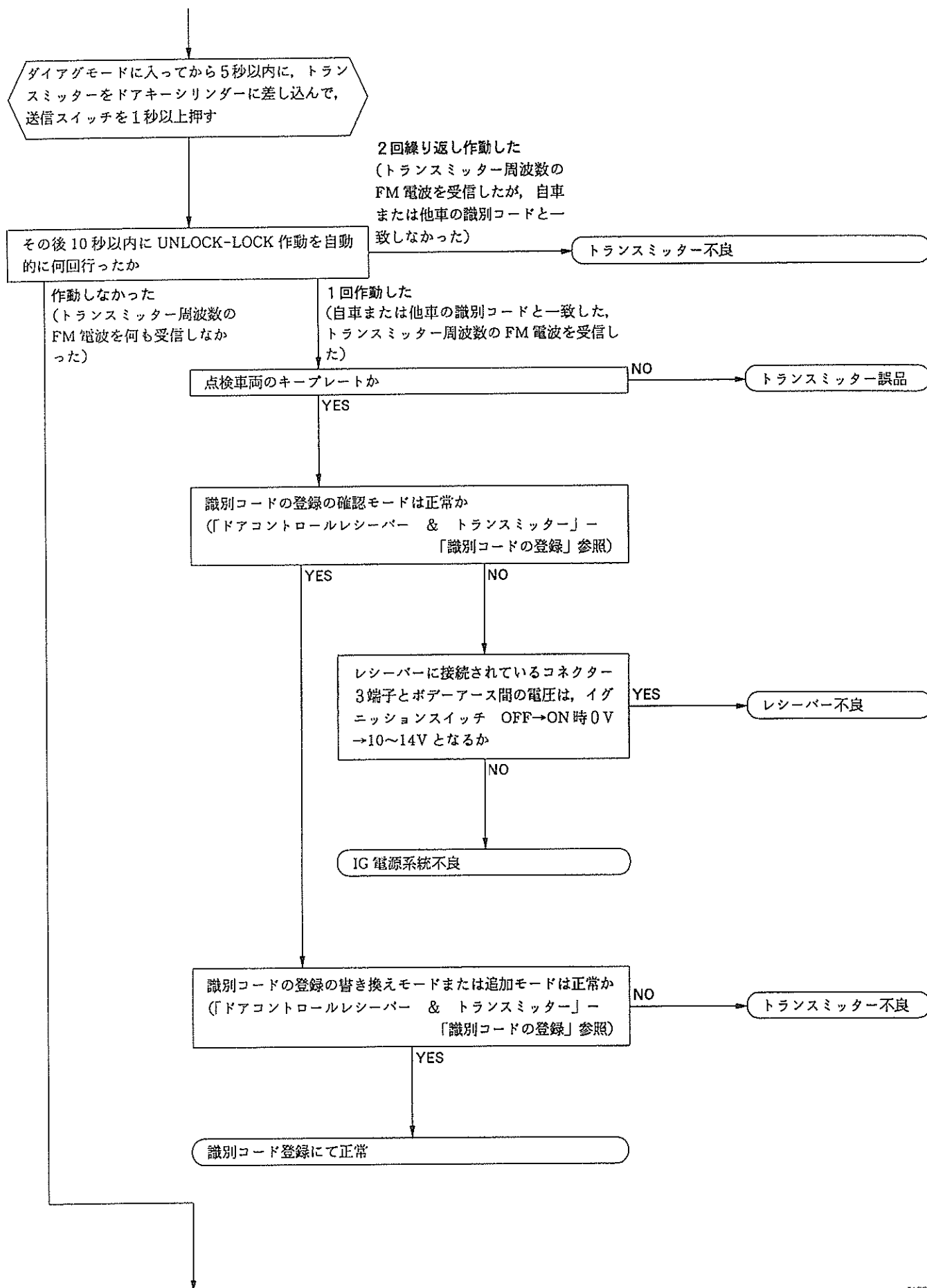
YES

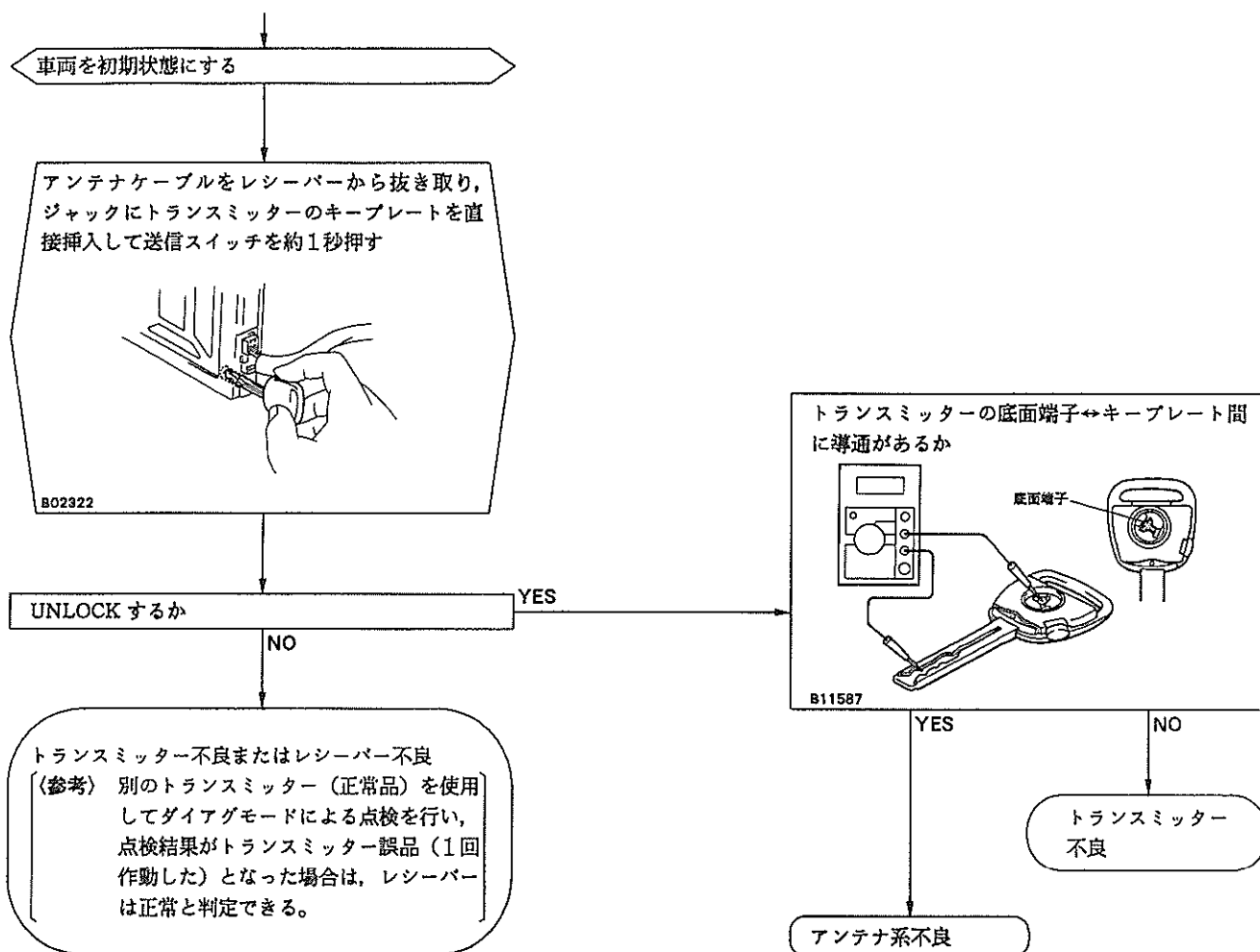
NO

トランスミッター不良

JA5869







2 ワイヤレス機能（遠隔操作）のみ作動しない（特定地域に片寄って不具合現象が発生する場合）

車両を初期状態にする

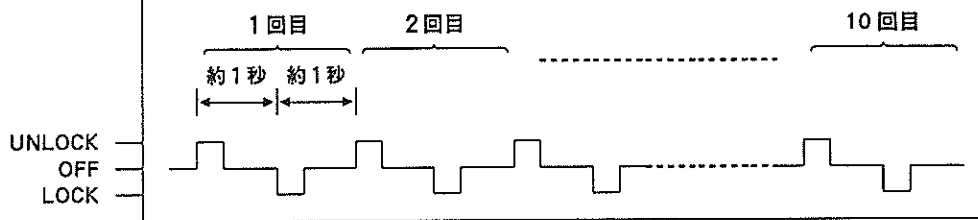
初期状態とは、以下の条件をすべて満たした状態をいう。

- ① イグニッションキーシリンダーにキーブレードが差し込まれていない。
- ② すべてのドアが閉まっている。
- ③ すべてのドアが LOCK 状態。

ダイアグモードに入れる

ドアロックレシーバーは以下の手順でダイアグモードとなる。

- ① 運転席ドアを開ける。
- ② すべてのドアを LOCK する。
- ③ キーブレードをイグニッションキーシリンダーに一度差し込んだ後、抜き取る。
- ④ ドアコントロールスイッチ（マニュアル作動用）にて、UNLOCK-LOCK を約 1 秒間隔で 30 秒以内に 10 回行う。（このスイッチ操作は、早すぎても遅すぎてもダイアグモードに入らない。）



ダイアグモード移行後、3 秒以内に UNLOCK-LOCK 作動を自動的に 1 回行うか

NO
(ダイアグモードに入っていない)

ダイアグモードに入れる方法は正しいか

YES

(ダイアグモードに入った)

1 回作動した
(自車または他車の識別コードと一致した、トランスミッター周波数の FM 電波を受信した)

レシーバー不良

その後 10 秒以内に UNLOCK-LOCK 作動を自動的に何回行ったか

自車両以外のトランスミッターより送信あり

作動しなかった
(トランスミッター周波数の FM 電波を何も受信しなかった)2 回繰り返し作動した
(トランスミッター周波数の FM 電波を受信したが、自車または他車の識別コードと一致しなかった)

正 常

〈参考〉

使用地域でのノイズが定常的に発生していない場合は、たまたまノイズが発生していない時に点検を行うと、正常と判断されることもある。

使用地域内にノイズあり

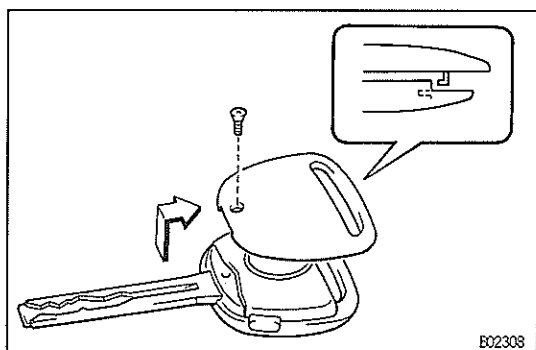
〈参考〉

- ・トランスミッターは微弱電波を使用しているためノイズに影響され通常の使用範囲での遠隔操作が、困難になる。
- ・そこで、ノイズの影響を受けにくくする方法としてバックウィンドウ ガラス（アンテナ部分）にトランスミッターのキー溝先端部分を接触（アース）させて送信スイッチ操作を行うと、ドアロックリモコン操作が可能となる。
- ・それでもドアロックリモコン操作が行えない場合は、ドアキーシリンダーにキーを差し込むシリンダー操作を行う。

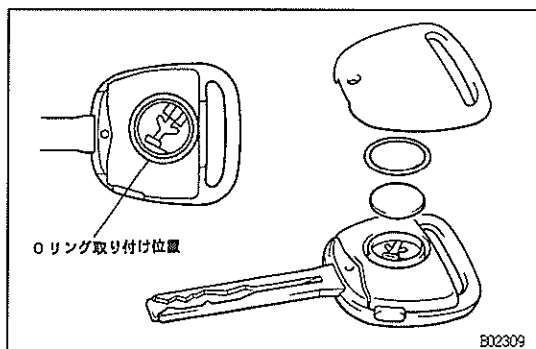
ドアコントロールレシーバー & トランスミッター

- 注意**
- 各部品は精密な電子部品のため、取り扱いには十分に気をつける。
 - トランスミッターおよびドアコントロールレシーバーは単品で補給されるため、交換時は識別コードの登録が必要となる。

6



B02308



B02309

ドアコントロールレシーバー & トランスミッター

1 トランスミッターバッテリー（電池）交換

- スクリューをはずし、カバーを後方へスライドさせて取りはずす。
- バッテリーとOリングを取りはずす。
- 新品のOリングおよびバッテリーをトランスミッター内にセットする。
〈参考〉 Oリングおよびバッテリーはセットで補給されている。
- Oリングがねじれたり、ずれたりしないようにカバーを取り付ける。
- スクリューを締め付ける。

2 識別コードの登録

- 次ページのフローチャートに従って、ドアコントロールレシーバーにトランスミッターの識別コードを登録する。

- 注意**
- 登録操作中で規定条件をはずれた場合は、通常作動に戻る。
 - 追加モード、書き換えモードおよび確認モードの3種類があるため、どのモードを実施するか決定後に行う。
 - 識別コードは最大4種類まで登録することができる。

〈参考〉追加モードは、登録済コードは残置し、新しく受信した識別コードを追加登録するモードであり、トランスミッター追加時に使用する。なお、登録コード数が4種類を超えた場合は最初に登録したコードを消去する。

- 書き換えモードは、登録済コードをすべて消去し、新しく受信した識別コードのみを登録するモードであり、トランスミッターまたはドアコントロールレシーバー交換時に使用する。
- 確認モードは、識別コードが何種類登録されているかを確認するモードであり、追加登録時の登録済コード数の確認などに使用する。

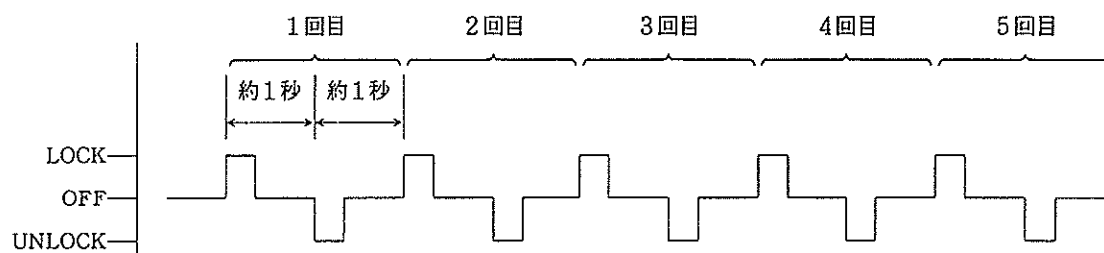
識別コードの登録開始

車両を以下の状態にする

- ①イグニッションキーシリンダーにキーブレードが差し込まれていない
- ②運転席ドアが開いている（他のドアは閉まっている）
- ③運転席ドアが UNLOCK 状態

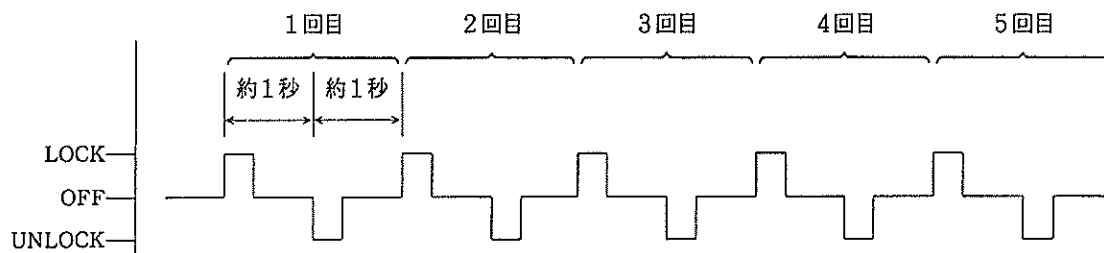
キーブレードをイグニッションキーシリンダーに差し込んだのち、抜き取る

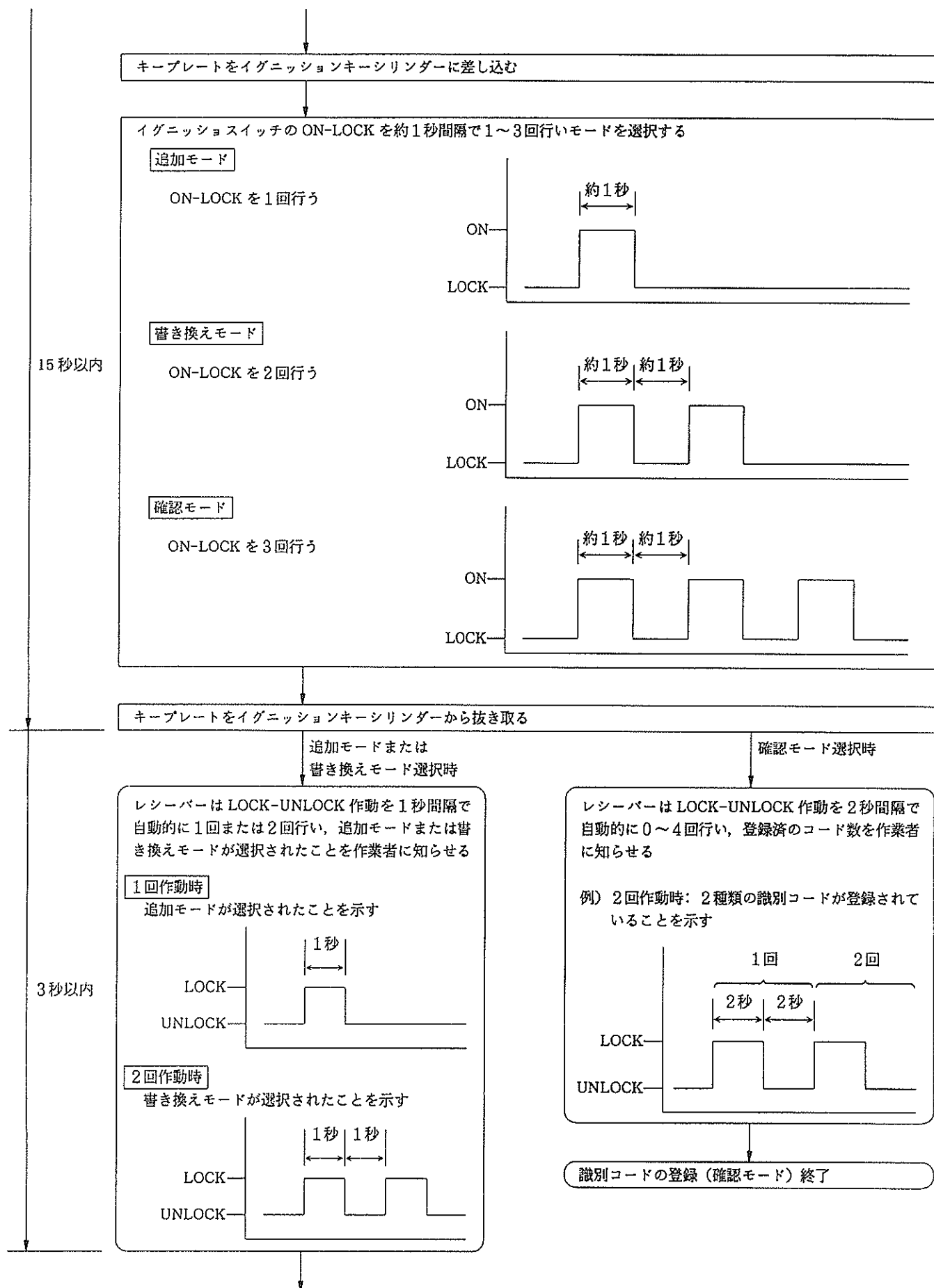
ドアコントロールスイッチ（マニュアル作動用）にて、LOCK-UNLOCK を約 1 秒間隔で 5 回行う

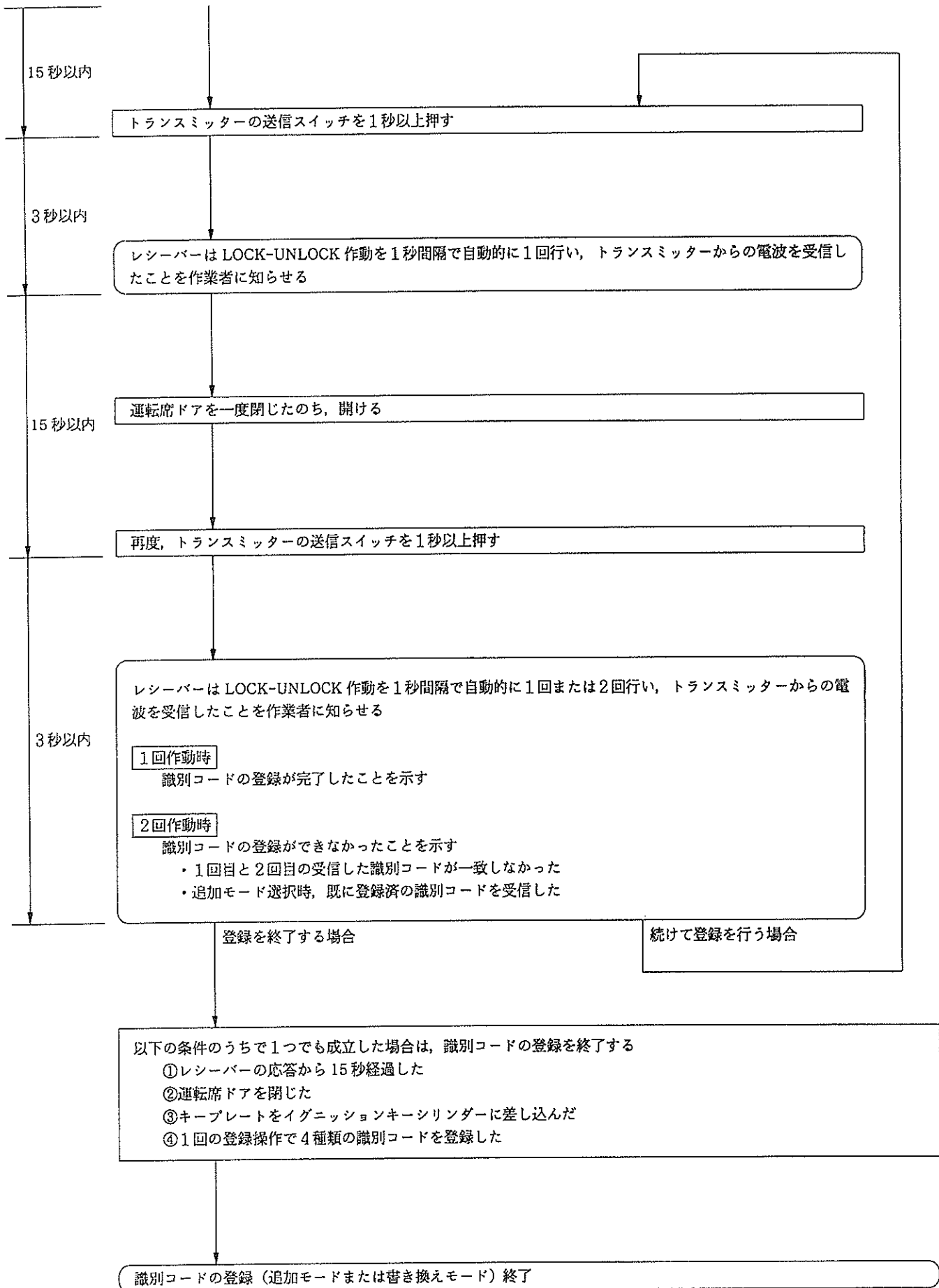


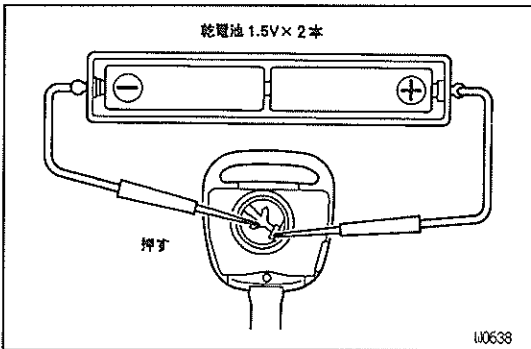
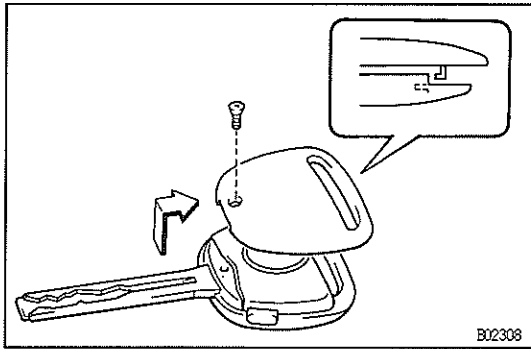
運転席ドアを一度閉じたのち、開ける

再度、ドアコントロールスイッチ（マニュアル作動用）にて、LOCK-UNLOCK を約 1 秒間隔で 5 回行う









単体点検

ドアコントロールトランスミッター

1 作動点検

- (1) スクリューをはずし、カバーを後方へスライドさせて取りはずす。
- (2) バッテリーを取りはずす。

- (3) 1本 1.5V の新品の乾電池を2本直列に接続する。
- (4) 電池収納部側面端子に電池の⊕、底面端子に電池の⊖を接続してトランスミッターに3Vの電圧を加える。
- (5) (4)の状態、運転席アウトサイドハンドルから右方向に約1m離れた位置において、トランスミッターのキープレートに車両に向け、トランスミッター本体側面の送信スイッチを押したときの作動を点検する。

基準 車両ドアロックの遠隔操作が行えること

- 〈参考〉
- ・操作する人、持ち方、場所により最低作動距離は変化する。
 - ・微弱電波を使用しているため、強い電波あるいは使用周波数にノイズがある場合は、作動距離が短くなることがある。
 - ・キープレートに指が触れると、作動距離が短くなることがある。

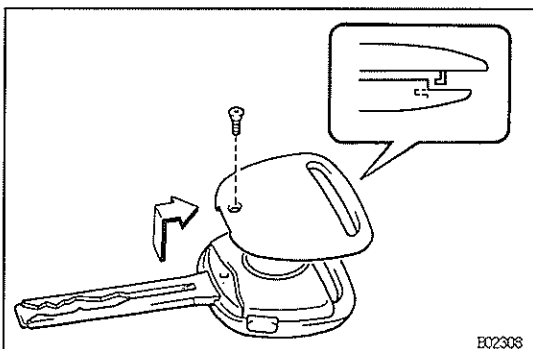
- (6) バッテリーをトランスミッター内にセットする。
- (7) Oリングがねじれたり、ずれたりしないようにカバーを取り付ける。
- 〈参考〉 点検時には、Oリングを交換する必要はない。
- (8) スクリューを締め付ける。

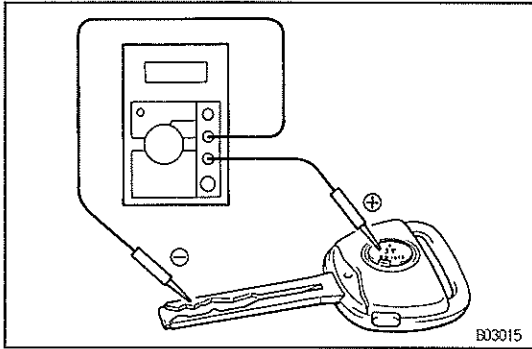
2 電池残存容量点検

- 注意
- ・必ずトヨタエレクトリカルテスターを使用する。
 - ・無負荷状態では、電圧によるリチウム電池の良否判定はできない。
 - ・トランスミッターが不良の場合は、電池残存容量の点検ができない場合がある。

〈参考〉 トランスミッターに使用しているリチウム電池は、電池容量が完全になくなるまで、無負荷では2.5V以上の電圧をテスター表示する。したがって、電池残存容量点検時には、負荷(1.2kΩ)をかけた状態で電圧測定する必要がある。

- (1) スクリューをはずし、カバーを後方へスライドさせて取りはずす。





- (2) 電池の⊕にテスターの⊕, キープレートにテスターの⊖を接続する。
- (3) トランスミッター本体側面の送信スイッチを約1秒間押す。
- (4) 再度, トランスミッター本体側面の送信スイッチを押し, 電圧を点検する。

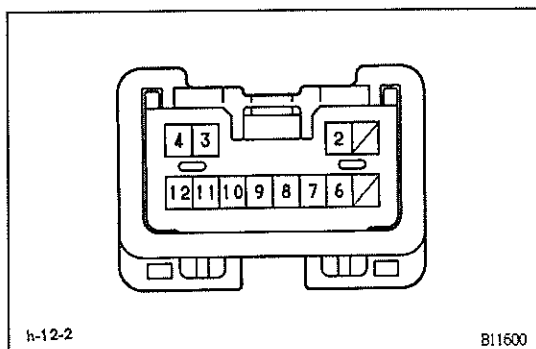
基準 2.1V 以上

- 注意**
- 電池の温度が低いと正確な良否判定ができないため, 点検結果が2.1V 以下の場合には, 18℃以上の場所に30分以上放置後, 再度点検する。
 - 放置後の初回は, 高い電圧を示すことがあるため, 2回目以降の電圧で判定する。

- (5) Oリングがねじれたり, ずれたりしないようにカバーを取り付ける。

〈参考〉 点検時には, Oリングを交換する必要はない。

- (6) スクリューを締め付ける。



ドアコントロールレシーバー

- (1) 以下の点検要領で各端子とボデーアース間の導通、電圧を点検する。なお、表中の“接続切り車両側”はコネクタの接続を切り離し車両側のコネクタで点検することを表し“コネクタ接続”はコネクタを接続した状態で点検することを表す。

注意 “接続切り車両側”の点検後、“コネクタ接続”の点検を行う。

基 準

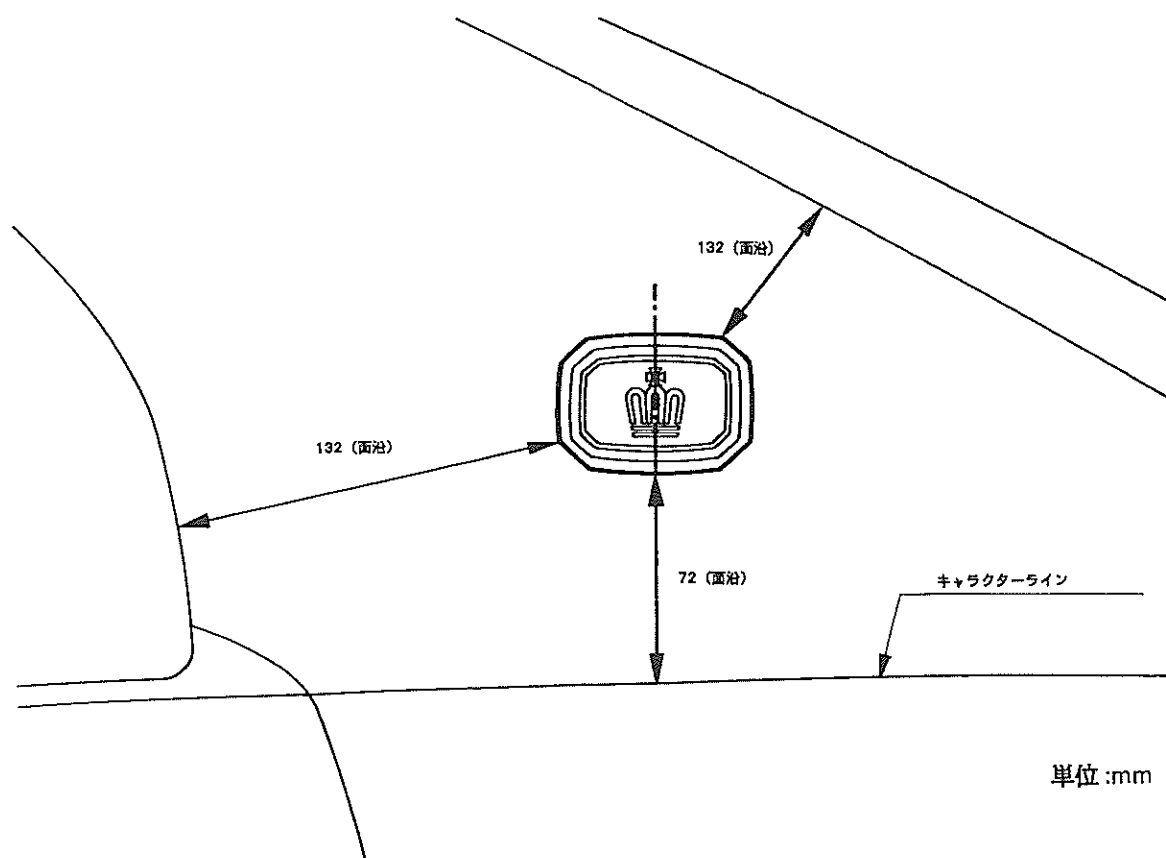
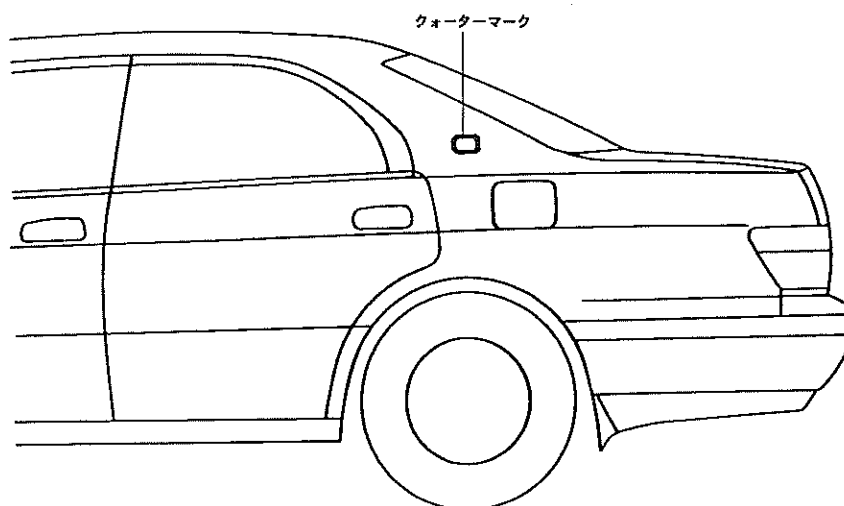
測定 コネクタ 条 件	端 子 番 号		項目	点 検 条 件	基 準	基準外の場合 の不具合箇所
	テスター	テスター				
接続切り 車 両 側	9↔	ボデー アース	導通	常 時	導通あり	車 両 側
	2↔	ボデー アース	電圧	常 時	10～14V	
	3↔	ボデー アース	電圧	イグニッションスイッチ OFF→ON	0V→10～14V	
	10↔	ボデー アース	電圧	運転席ドアロックノブ LOCK→UNLOCK	5V以上→0V	
	7↔	ボデー アース	電圧	リヤ席および助手席ドアロックノブ LOCK →いずれかのドアロックノブ UNLOCK	5V以上→0V	
	8↔	ボデー アース	電圧	イグニッションキーシリンダーにキープレート を差し込む→抜く	0V→10～14V	
	12↔	ボデー アース	電圧	全ドア閉→いずれかのドアを開	10～14V→0V	
コネクタ 接 続	6↔	ボデー アース	電圧	全ドア閉、全ドア UNLOCK→トランスミッター ONで 全ドア LOCK	10～14V→0V 約0.5秒後 →10～14V	ドアコントロー ルレシーバー
	4↔	ボデー アース	電圧	全ドア閉、全ドア LOCK→トランスミッター ONで全 ドア UNLOCK	10～14V→0V 約0.5秒後 →10～14V	
	11↔	ボデー アース	電圧	全ドア閉、全ドア LOCK→トランスミッター ONで全 ドア UNLOCK	5V以上→0V	

ネームプレート

クォーターマーク 脱着構成図

6

クォーターピラーマーク



〈参考〉 マスキングテープを上記寸法に合わせて位置決めをすると良い

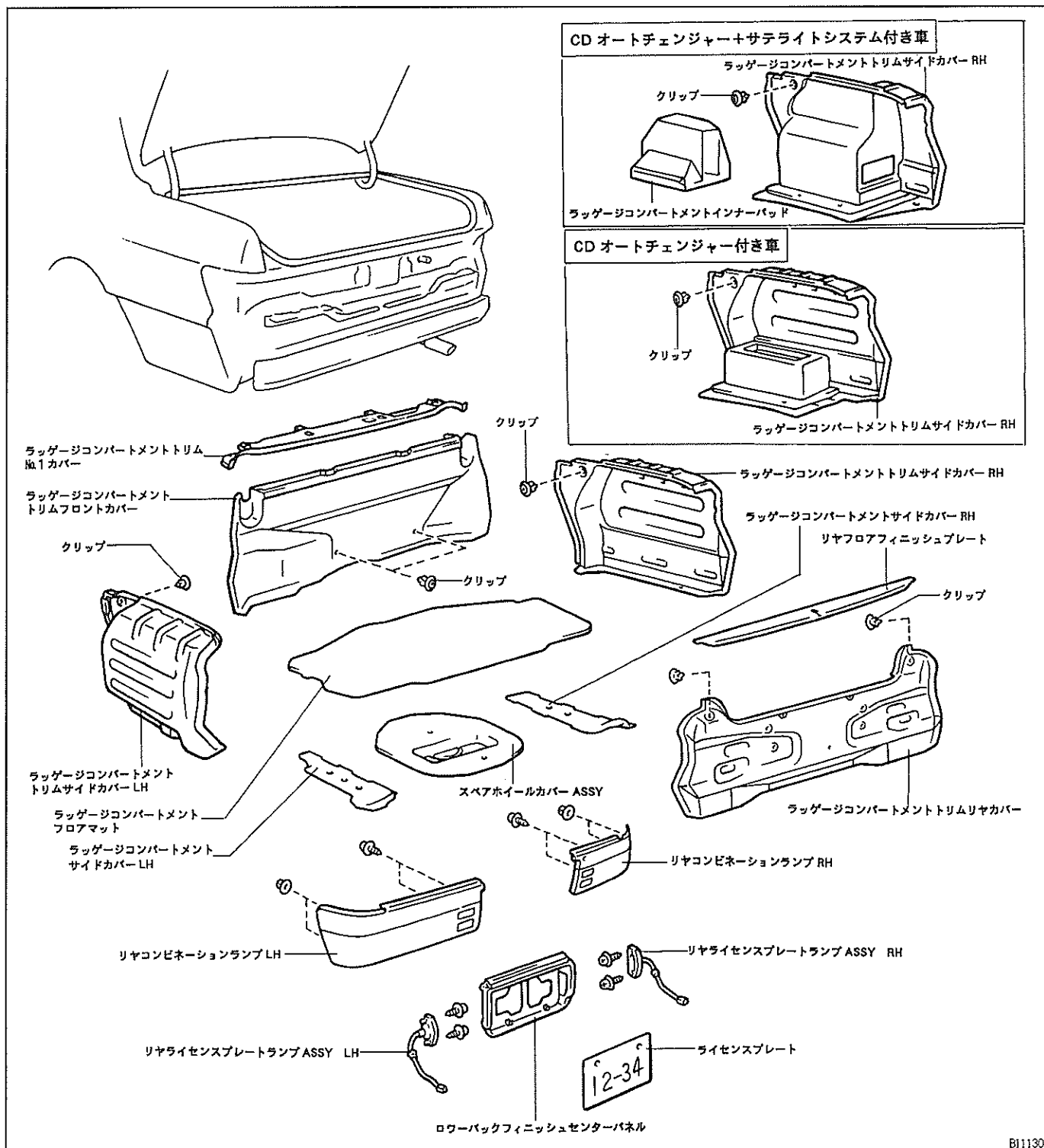
B11247

モールドィング

□ワーバックフィニッシュ

センターパネル

脱着構成図



ローバックフィニッシュセンターパネル取りはずし

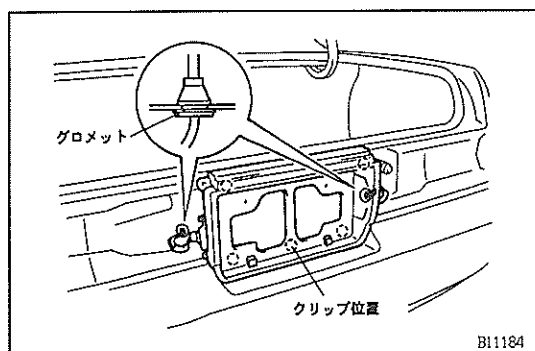
- 1 ラグゲージコンパートメントフロアマット取りはずし
- 2 スペアホイールカバー ASSY 取りはずし
- 3 ラグゲージコンパートメントサイドカバー RH および LH 取りはずし
- 4 ラグゲージコンパートメントトリムフロントカバー取りはずし
- 5 ラグゲージコンパートメントトリムNo.1 カバー取りはずし
- 6 リヤフロアフィニッシュプレート取りはずし
- 7 ラグゲージコンパートメントリヤカバー取りはずし
- 8 ラグゲージコンパートメントトリムサイドカバー RH 取りはずし
- 9 ラグゲージコンパートメントトリムサイドカバー LH 取りはずし
- 10 リヤコンビネーションランプ ASSY RH および LH 取りはずし

(1 から 10 は「リヤバンパー」－「リヤバンパー ASSY 取りはずし」参照)

11 リヤライセンスプレート取りはずし

〈参考〉 ライセンスプレートの封印を取りはずした場合は、封印の申請が必要です。

6



12 ローバックフィニッシュセンターパネル取りはずし

- (1) クリップのかん合5箇所を取りはずす。
- (2) コネクターを切り離し、グロメットをはずしてローバックフィニッシュセンターパネルを取りはずす。
- (3) スクリュー4本をはずし、ローバックフィニッシュセンターパネルからライセンスプレートランプ2個を取りはずす。

ローバックフィニッシュセンターパネル取り付け

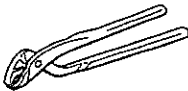
- 1 ローバックフィニッシュセンターパネル取り付け
- 2 リヤライセンスプレート取り付け
- 3 リヤコンビネーションランプ ASSY RH および LH 取り付け
- 4 ラグゲージコンパートメントトリムサイドカバー LH 取り付け
- 5 ラグゲージコンパートメントトリムサイドカバー RH 取り付け

- 6 ラグゲージコンパートメントリヤカバー取り付け
- 7 リヤフロアフィニッシュプレート取り付け
- 8 ラグゲージコンパートメントトリムNo.1 カバー取り付け
- 9 ラグゲージコンパートメントトリムフロントカバー取り付け
- 10 ラグゲージコンパートメントサイドカバー RH および LH 取り付け
- 11 スペアホイールカバー ASSY 取り付け
- 12 ラグゲージコンパートメントフロアマット取り付け

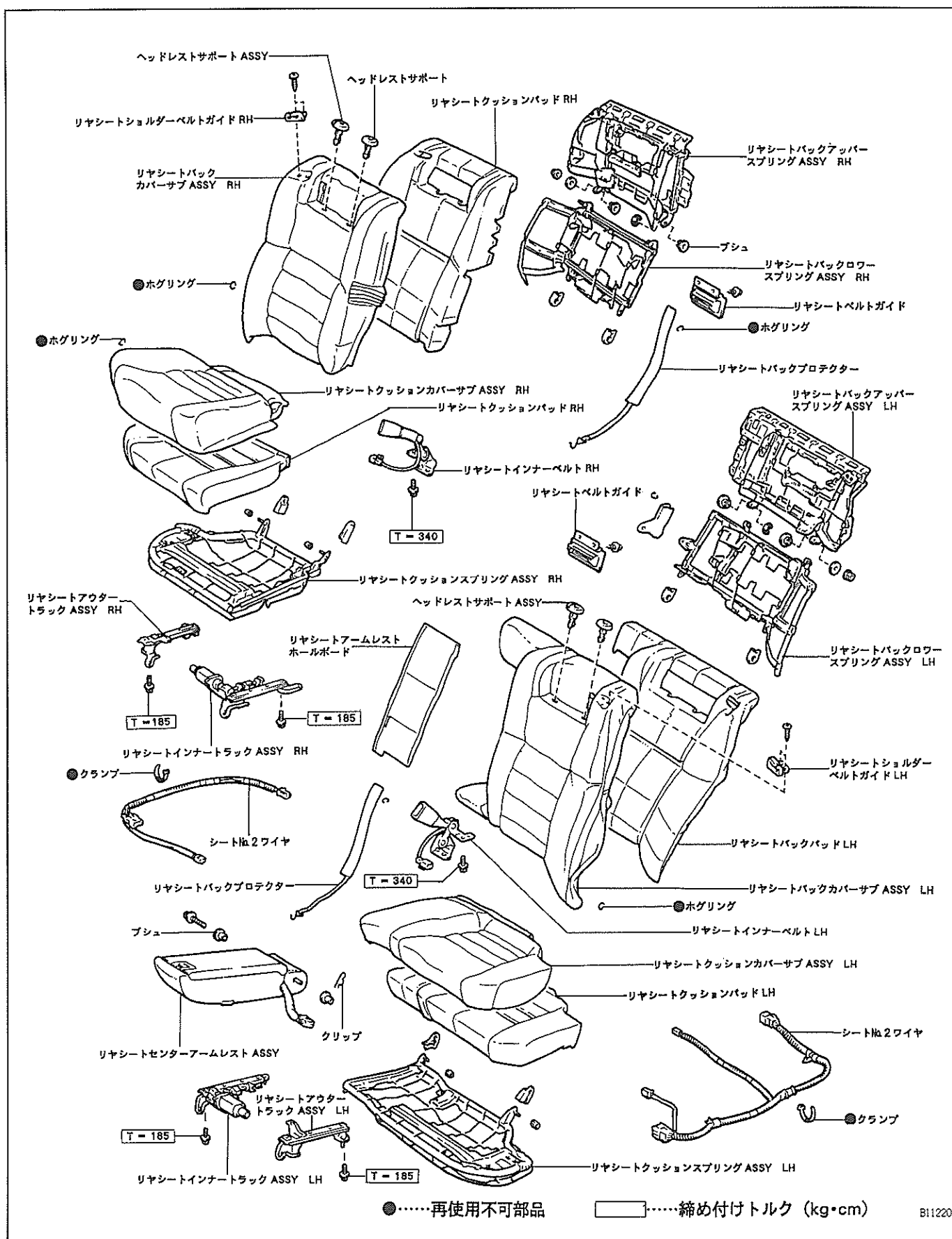
リヤシート

準備品

工 具

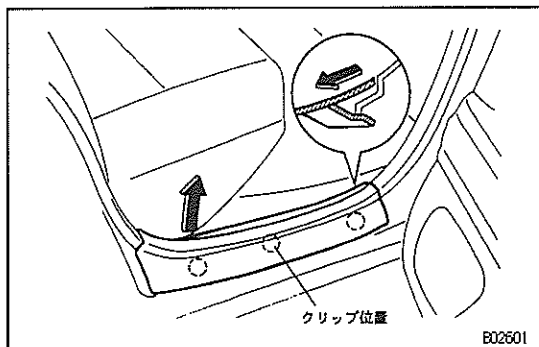
	09130-00160	ホグリングプライヤー	ホグリング取り付け用
クリップリムーバー	10801		クリップ取りはずし用
二面幅3mmヘキサゴンレンチ	10512		パワーシートモーター脱着用

分解構成図

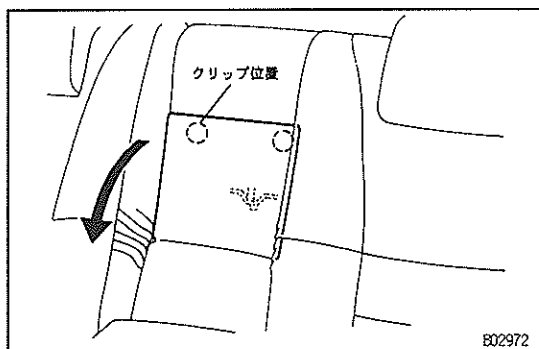
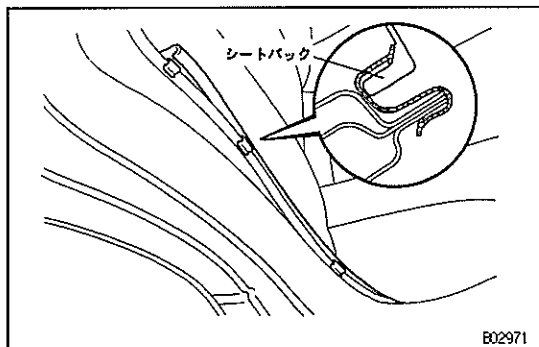


リヤシート ASSY 取りはずし

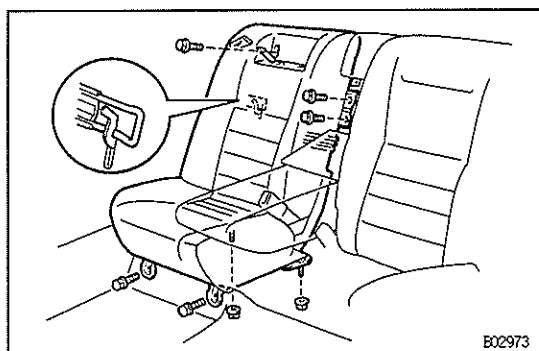
- 1 リヤドアスカッフプレート RH および LH 取りはずし
 - (1) クリップリムーバーを使用してプレートのリヤ側からクリップ 3 個のかん合をはずし、スカッフプレートを取りはずす。
- 2 リヤドアオープニングトリム RH および LH 取りはずし



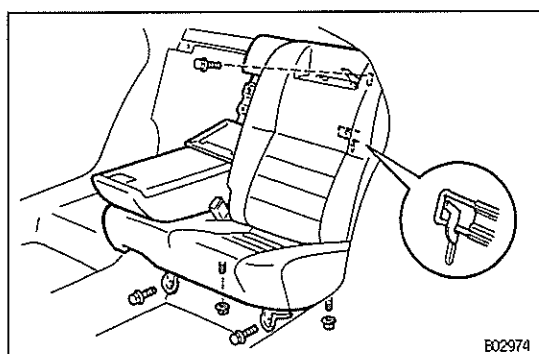
- 3 リヤシート ASSY RH および LH 取りはずし
 - (1) シートバックサイド部をボデーから取りはずす。



- (2) リヤシートセンターアームレストを引き出す。
- (3) クリップのかん合をはずしてリヤシートアームレストボードを倒す。
- (4) シートベルトをベルトガイドから取りはずす。
- (5) リヤシートヘッドレスト 2 個を取りはずす。



- (6) シートトラックブラケットカバーアウターおよびインナーを取りはずす。
- (7) フロア裏側から、ナット 2 個を取りはずす。
- (8) ボルト 5 本を取りはずす。
- (9) シートベルトアウターおよびセンターをリヤシートから取りはずす。
- (10) シートクッションを持ち上げてコネクターを切り離す。
- (11) シートバックを持ち上げてボデーのフックのかん合をはずし、リヤシート ASSY RH を取りはずす。



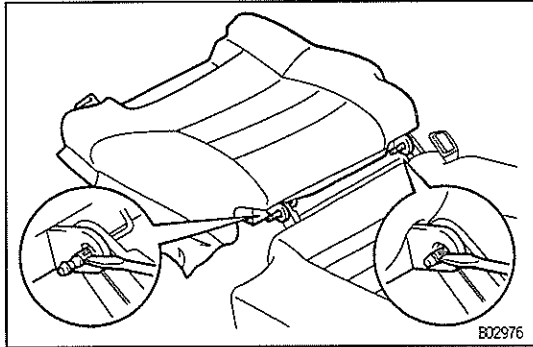
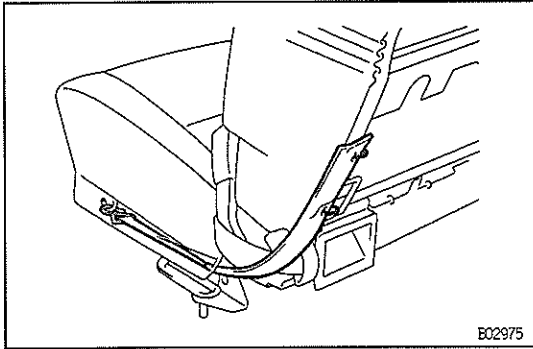
- (12) シートトラックブラケットカバーアウターおよびインナーを取りはずす。
- (13) フロア裏側から、ナット 2 個を取りはずす。
- (14) ボルト 3 本を取りはずす。
- (15) シートベルトアウターおよびセンターをリヤシートから取りはずす。
- (16) シートクッションを持ち上げてコネクターを切り離す。
- (17) シートバックを持ち上げてボデーのフックのかん合をはずし、リヤシート ASSY LH を取りはずす。

リヤシート ASSY RH 分解

1 リヤシートクッション ASSY 取りはずし

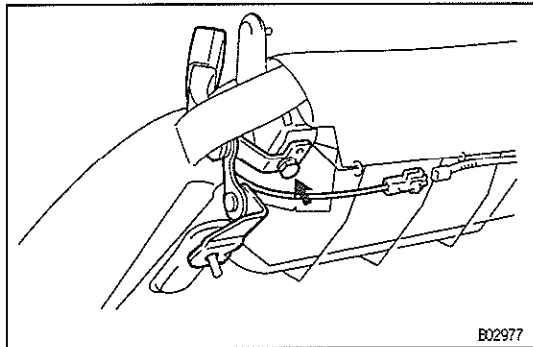
- (1) ホグリング2個をはずし、リヤシートバックプロテクターを取りはずす。

- (2) 薄刃ドライバーを使用してクリップ2個を取りはずす。



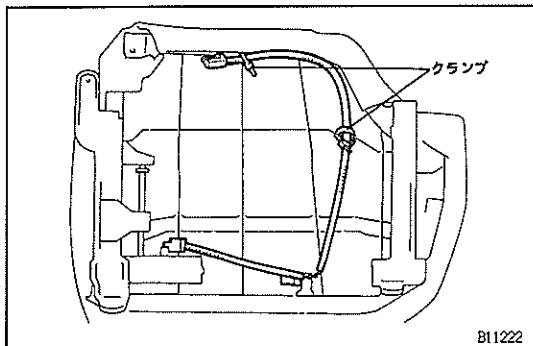
2 リヤシートインナーベルト RH 取りはずし

- (1) ボルトをはずし、コネクターを切り離して、インナーベルトを取りはずす。



3 シートNo.2 ワイヤ取りはずし

- (1) クランプをはずし、コネクターを切り離して、シートNo.2 ワイヤを取りはずす。



4 リヤシートアウトトラック ASSY 取りはずし

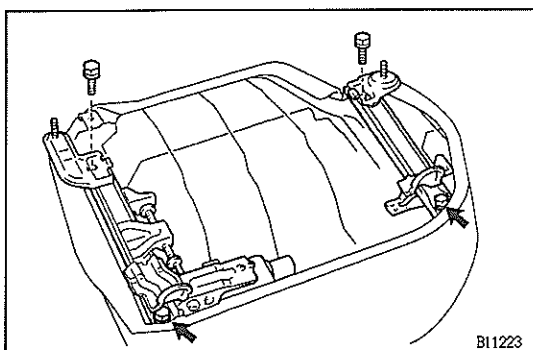
- (1) ボルト2本をはずし、アウトトラック ASSY を取りはずす。

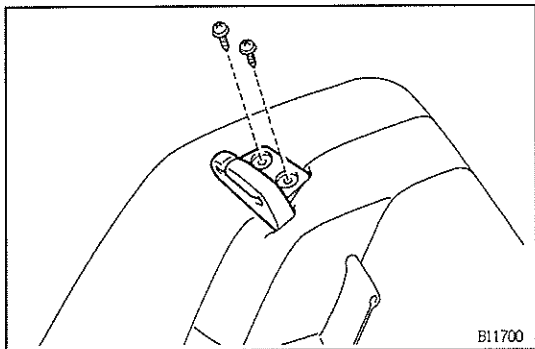
5 リヤシートインナートラック ASSY 取りはずし

- (1) ボルト2本をはずし、インナートラック ASSY を取りはずす。

6 リヤシートクッションカバー RH 取りはずし

- (1) ホグリングをはずし、シートクッションカバーを取りはずす。

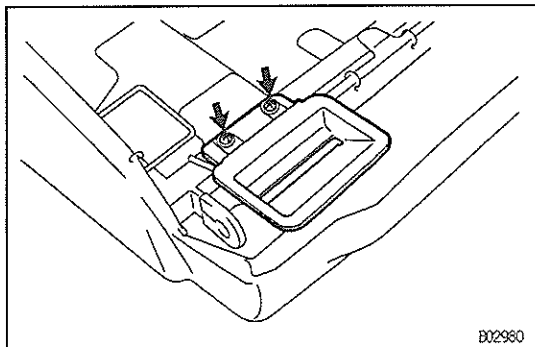




7 リヤシートショルダーベルトガイド RH 取りはずし

- (1) スクリュー 2 本をはずし、ショルダーベルトガイドを取りはずす。

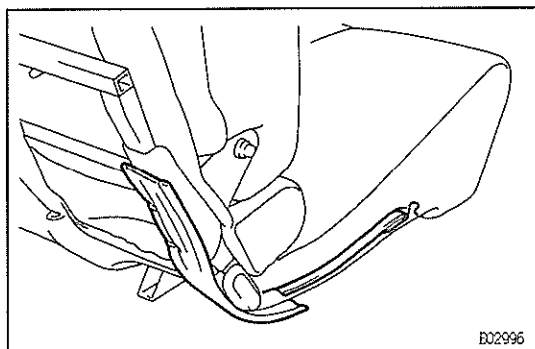
8 リヤシートヘッドレストサポート取りはずし



9 リヤシートベルトガイド取りはずし

- (1) スクリュー 2 本をはずし、ベルトガイドを取りはずす。

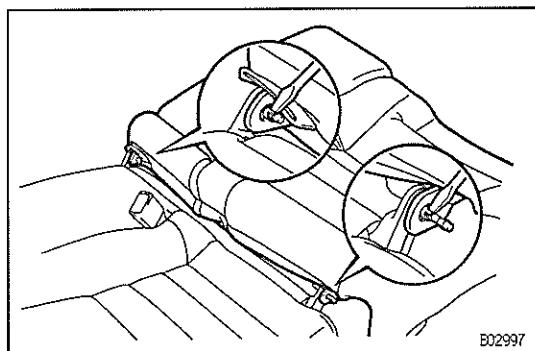
6



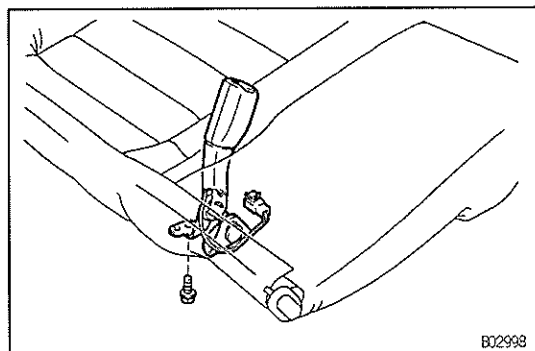
リヤシート ASSY LH 分解

1 リヤシートクッション ASSY 取りはずし

- (1) ホグリング 2 個をはずし、リヤシートバックプロテクターを取りはずす。

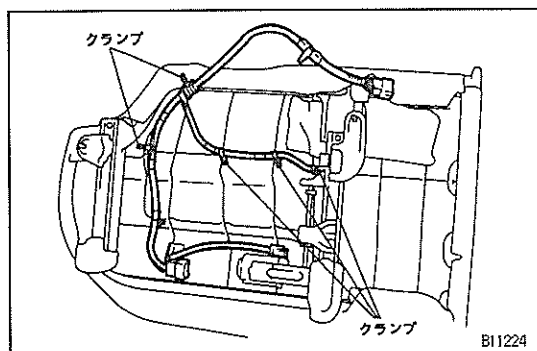


- (2) ⊖薄刃ドライバーを使用してクリップ 2 個を取りはずす。



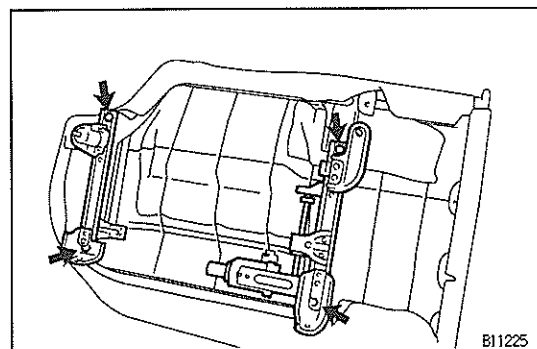
2 リヤシートインナーベルト LH 取りはずし

- (1) ボルトをはずし、コネクターを切り離してインナーベルトを取りはずす。



3 シートNo.2ワイヤ取りはずし

- (1) クランプをはずし、コネクターを切り離してシートNo.2ワイヤを取りはずす。



4 リヤシートアウトトラック ASSY 取りはずし

- (1) ボルト2本をはずし、アウトトラック ASSY を取りはずす。

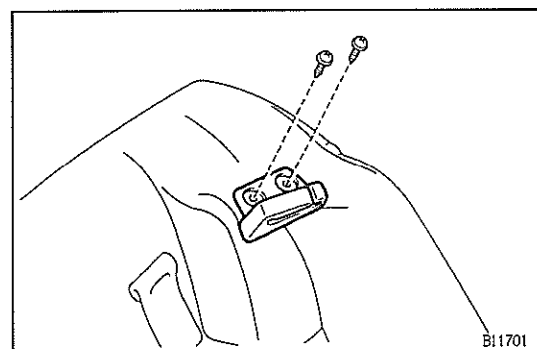
5 リヤシートインナートラック ASSY 取りはずし

- (1) ボルト2本をはずし、インナートラック ASSY を取りはずす。

6 リヤシートクッションカバー LH 取りはずし

- (1) ホグリングをはずし、シートクッションカバーを取りはずす。

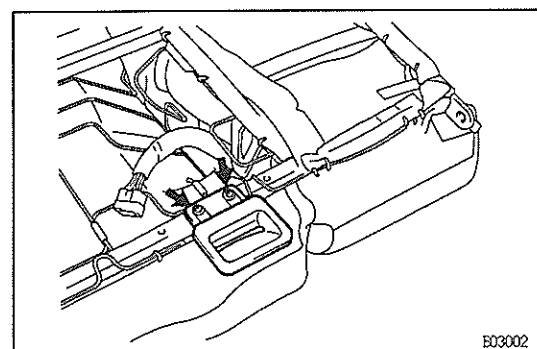
6



7 リヤシートショルダーベルトガイド LH 取りはずし

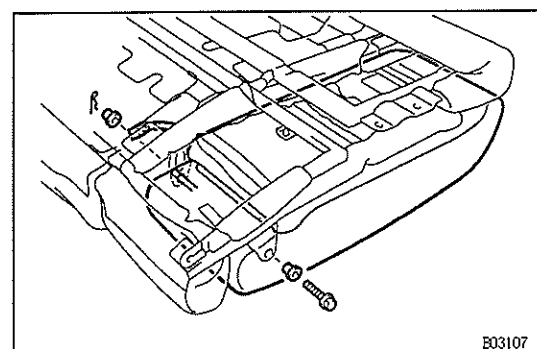
- (1) スクリュー2本をはずし、ショルダーベルトガイドを取りはずす。

8 リヤシートヘッドレストサポート取りはずし



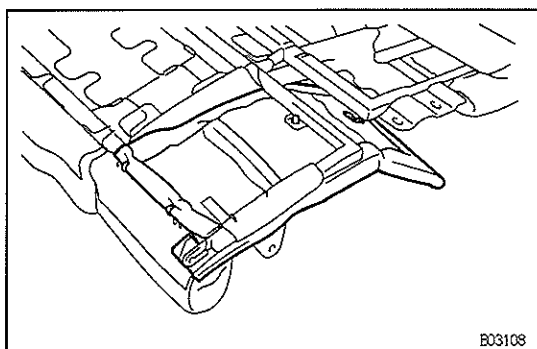
9 リヤシートベルトガイド取りはずし

- (1) スクリュー2本をはずし、ベルトガイドを取りはずす。



10 リヤシートセンターアームレスト ASSY 取りはずし

- (1) ボルト、クリップおよびプシュ2個をはずし、センターアームレストをシートバックから取りはずす。

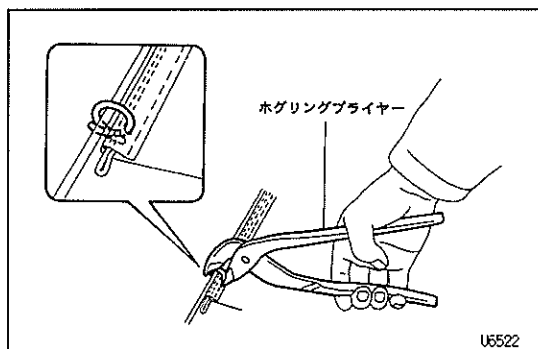


11 リヤシートアームレストホールボード取りはずし

- (1) ホグリングをはずし、クリップのかん合をはずしてボードを取りはずす。

12 リヤシートバックカバー取りはずし

- (1) ホグリングをはずし、シートバックカバーを取りはずす。



リヤシート組み付け

- (1) 組み付けは、分解と逆の手順で作業を行う。

注意 組み付け時、シートカバーを汚したり傷つけない。

- (2) シートカバー取り付け用ホグリングは、ホグリングプライヤーを使用して取り付ける。

注意 出来るだけシワが発生しないようにホグリングを取り付ける。

- (3) シートカバーにシワが発生した場合は、ドライヤーなどで熱してシワを伸ばす。それでもシワが取れない場合は、軽く霧吹きしてからドライヤーで伸ばす。

リヤシート取り付け

1 リヤシート ASSY LH 取り付け

T=145kg・cm (シートアジャスター部・ボルト)

T=185kg・cm (シートバック部)

T=400kg・cm (シートアジャスター部・ナット)

2 リヤシート ASSY RH 取り付け

T=145kg・cm (シートアジャスター部・ボルト)

T=185kg・cm (シートバック部)

T=400kg・cm (シートアジャスター部・ナット)

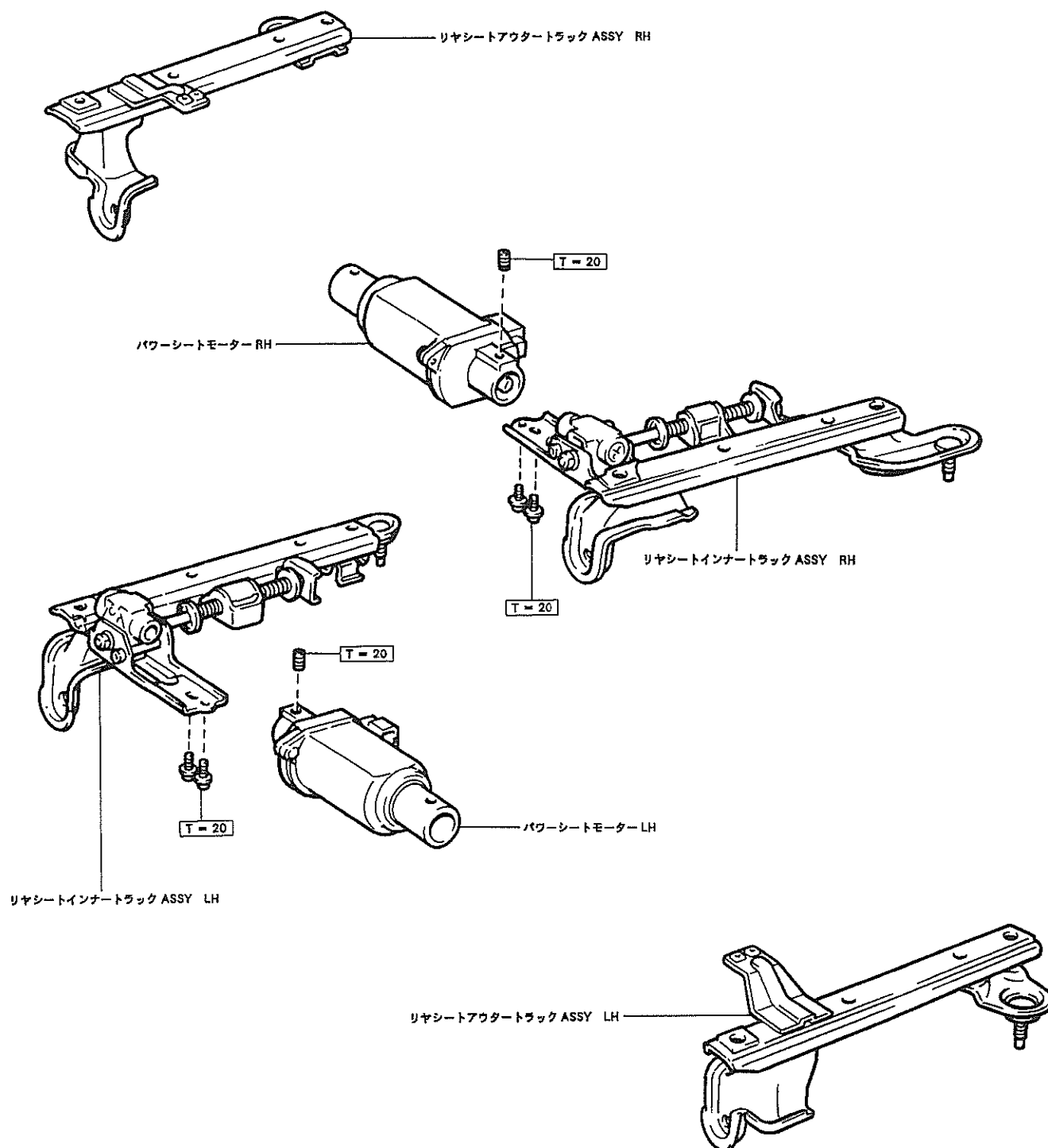
3 リヤドアオープニングトリム RH および LH 取り付け

4 リヤドアスカッフプレート RH および LH 取り付け

パワーシートアジャスター

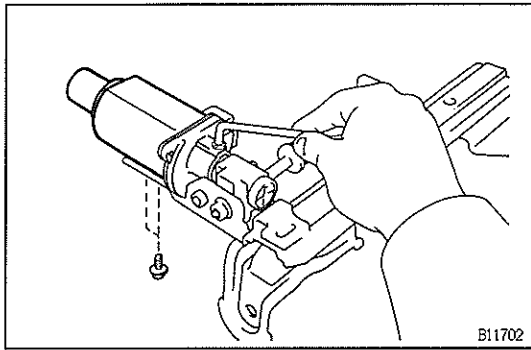
分解構成図

6



.....締め付けトルク (kg・cm)

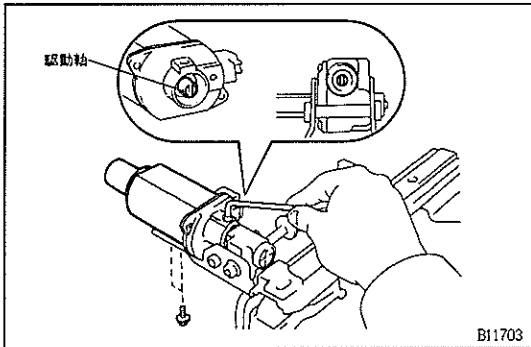
B11705



パワーシートアジャスター分解

1 パワーシートモーター取りはずし

- (1) スクリュー2本を取りはずす。
- (2) ヘキサゴンレンチ（二面幅3mm）を使用してスクリュー2本をはずし、パワーシートモーターを取りはずす。



パワーシートアジャスター組み付け

1 パワーシートモーター取り付け

- (1) モーターの駆動軸とハウジングの取り付け部を合わせて、パワーシートモーターをスクリュー2本で取り付ける。
- (2) ヘキサゴンレンチ（二面幅3mm）を使用してスクリュー2本を取り付ける。